

# 正親学区

# 防災まちづくり計画

地域の絆を深め、みんなでつくる  
安心・安全、住みよきまち 正親

正親学区 防災まちづくり委員会

本計画は、押印のうえ、新しい役員の方に引き継いでください。

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
印	印	印	印	印	印	印	印	印	印



# 【目 次】

<b>1. 『防災まちづくり計画』とは</b>	<b>・・・ 1</b>
(1) 計画の背景と目的	
(2) 計画の役割	
(3) 計画策定までの取組	
(4) これまでに取り組んできた「すぐに取り組む具体的な対策」	
<b>2. 正親学区の概要</b>	<b>・・・ 12</b>
(1) 市街地の成り立ち	
(2) 現状と課題	
(3) 市街地の特性図（軸とエリアの設定）	
<b>3. 「防災まちづくり」の目標</b>	<b>・・・ 21</b>
(1) 目指すまちの将来像	
(2) 防災まちづくりの基本方針	
<b>4. エリア別計画</b>	<b>・・・ 28</b>
(1) エリア別計画	
<b>5. 計画の実現に向けて</b>	<b>・・・ 32</b>
(1) 基本的な進め方	
(2) 3年間の取組イメージ	
(3) 学区の取組と連携した年間の取組イメージ	
(4) 主体ごとの役割と具体的な取組	

# 1. 『防災まちづくり計画』とは

## (1) 計画の背景と目的

正親学区は、千本通や中立売通、智恵光院通などの京都市の広域的な幹線道路が通過し、「聚楽第」跡地ゆかりの町名や通り名のもと、一条通や浄福寺通などによって形成された市街地の中に、町家やトンネル路地などが残っている京都らしい町並みや風景を有しています。

その一方で、幅員の狭い路地や、行き止まりの路地が多く、古い木造住宅が密集する地区もみられ、大地震による建物等の倒壊や、火災による広範囲への延焼などの被害が予想されます。

こうしたことから、正親学区では、災害につよい安心・安全に住み続けられるまちを目指し、平成27年度から「防災まちづくり」に取り組み、緊急避難扉の設置による2方向避難経路の確保や、袋路始端部の整備などの「すぐに取り組む具体的な対策」を着実に進めるとともに、住民のみなさんと「防災まちあるき」や「防災まちづくり意見交換会」など様々な機会での想いを共有してきました。

『防災まちづくり計画』は、これまで住民のみなさんと共有してきた想いを大切に、災害の被害から人命や財産を守り、将来にわたって安心・安全に住み続けられるよう、学区全体で継続して「防災まちづくり」に取り組んでいくための考え方や具体的な取組等をまとめたものです。

## (2) 計画の役割

『防災まちづくり計画』は、住民が、地域の各種団体や事業者、行政などと一緒に、安心・安全なまちをつくりあげるために以下の役割を有しています。

### ① 実現すべき目指すまちの将来像を明らかにする役割

今後の「防災まちづくり」の取組に向けて、誰にとっても分かりやすい表現で、実現すべき目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針、具体的な「防災まちづくり」対策等を明らかにします。

### ② 具体的な「防災まちづくり」対策を進める指針とする役割

地域で把握・共有した防災上の課題解決に向けて、地域の特性を踏まえた具体的な「防災まちづくり」対策を進めていく際の指針とします。

### ③ 住民や事業者の理解、合意形成を図る役割

目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針を、住民、事業者、行政が共通の目標として共有することにより、「防災まちづくり」に対する理解を深め、「防災まちづくり」の取組全般に対する合意形成や相互の調整を容易にします。

### (3) 計画策定までの取組

#### ★1年目の主な取組（平成27年度）

年月日	会議名等（青：住民のみなさんに参加頂いた取組、ピンク：すぐに取り組む具体的な対策）
平成27年7月1日(水)	団体長会議
平成27年8月4日(火)	第2回防災まちづくり委員会
平成27年8月29日(土)	児童ポーンでの活動PR
平成27年9月10日(木)	第4回防災まちづくり委員会
平成27年10月24日(土)	第1回防災まちあるき（ブロック1、5、6）
平成27年11月14日(土)	第2回防災まちあるき（ブロック2、3、4）
平成27年12月13日(日)	防災訓練
平成27年12月25日(金)	防災訓練コア会議(第1回)
平成28年1月8日(金)	防災訓練コア会議(第2回)
平成28年1月15日(金)	第5回防災まちづくり委員会
平成28年2月2日(火)	防災まちづくり意見交換会(ブロック1、5、6)
平成28年2月9日(火)	防災まちづくり意見交換会(ブロック2、3、4)
平成28年3月1日(火)	第6回防災まちづくり委員会
平成28年3月	すぐに取り組む具体的な対策（袋路への緊急避難扉の設置：P9参照）



#### 『防災まちあるき』

- 学区を6ブロックに分け、2日間で住民のみなさんと一緒に各路地の状況や地域の防災上の課題を確認し、共有しました。



#### 『防災まちづくり』意見交換会

- 『防災まちあるき』を振り返りながら、まちの現状・課題、課題を解決するための具体的な対策について意見交換を行いました。

#### 主なご意見

- 一条通には京町家が残っている。
- 古い木造住宅や管理が不十分な空き家が多い。
- 幅の狭い袋路が入り組んでいる。
- 古くて高いブロック塀がある。
- 使用されていない井戸が多い。
- 路地入口や密集地では家の耐震化が重要。
- 軸となる道の耐震化が必要。
- 普段から路地を適正管理することが大切。
- 「地域の集合場所」の変更を検討。
- イズミヤやフレスコとの協力体制づくり。

## ★2年目の主な取組（平成28年度）

年月日	会議名等（青：住民のみなさんに参加頂いた取組、ピンク：すぐに取り組む具体的な対策）
平成28年4月14日(木)	第7回防災まちづくり委員会
平成28年5月28日(土)	安否確認訓練
平成28年5月31日(火)	第8回防災まちづくり委員会
平成28年6月23日(木)	第1回防災まちづくりセミナー・意見交換会
平成28年6月30日(木)	第2回防災まちづくりセミナー・意見交換会
平成28年7月7日(木)	第3回防災まちづくりセミナー・意見交換会
平成28年8月2日(火)	第9回防災まちづくり委員会
平成28年9月	すぐに取り組む具体的な対策（老朽木造建築物の除却、袋路始端部の整備：P10 参照）
平成28年10月13日(木)	第10回防災まちづくり委員会
平成28年11月26日(土)	すまいの耐震大作戦 2016（一条通，浄福寺通，上長者町通）
平成29年1月28日(土)	第11回防災まちづくり委員会
平成29年3月	すぐに取り組む具体的な対策（古いブロック塀の改修：P11 参照）
平成29年3月16日(木)	第12回防災まちづくり委員会
平成29年3月21日(火)	住まい（空き家）の講座（空き家化の予防）



### 『防災まちづくりセミナー・意見交換会』

- ・熊本地震の被害状況の報告や京都市の耐震助成制度を確認し、「災害につよいまちをつくるために取り組むべきこと」や「目指す将来のまちのイメージ」などについて、町内ごとにグループに分かれて意見交換を行いました。

#### 主なご意見（●：取組のアイデア、★：目指す将来のまちのイメージ）

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ●家の中の安全対策をする。         | ★一人ひとりの顔が見えるまち。     |
| ●耐震化や防火対策を学区全体に広げる。   | ★町内の交流が活発なまち。       |
| ●空き家対策の勉強会を行う。        | ★子どもの声が聞こえるまち。      |
| ●建替え時のセットバックをしっかりと行う。 | ★若者が住みたいと思うまち。      |
| ●避難経路の安全性を確認する。       | ★学区内の主要な道は広がってほしい。  |
| ●みんなで「地域の集合場所」を共有する。  | ★今までどおり安全で暮らしやすい環境。 |
| ●日頃のコミュニケーションを大事にする。  | ★みんなが笑顔であいさつできるまち。  |
| ●災害時に備え、周辺店舗等と協定を結ぶ。  | ★京都の良さを残す。          |
| ●防災意識を高める取組をする。       | ★みんなが安心して暮らせるまち。    |



### 『すまいの耐震大作戦 2016』

- ・防災上重要な道となる一条通、浄福寺通、上長者町通の沿道の建物（昭和 56 年以前）を対象として、地域と行政、専門家が一緒に各お宅を訪問し、耐震診断等を直接呼び掛けました。

### 取組の結果

- ・全体で約 **90** 軒のお宅に、耐震診断等の呼び掛けや、耐震化の重要性に関する意識啓発を行うことができました。

#### ★訪問軒数（ポスティング含む）

- ・一条通 : **21** 軒
- ・浄福寺通 : **21** 軒
- ・上長者町通 : **47** 軒

約 90 軒のうち、5 軒から  
実際に耐震診断の申請  
をいただきました！



### 『住まい（空き家）の講座』

- ・亀楽会で 75 歳以上の方を対象に、司法書士による空き家化の予防、「家」に関するお悩み相談会を実施しました。

### 『地域の集合場所の見直し』

- ・3つの町内会で、「地域の集合場所」を、より安全な場所へ見直しました。

### ★3年目の主な取組（平成29年度）

年月日	会議名等（青：住民のみなさんに参加頂いた取組, ピンク：すぐに取り組む具体的な対策）
平成29年4月21日(金)	第13回防災まちづくり委員会
平成29年5月26日(金)	第14回防災まちづくり委員会
平成29年6月3日(土)	安否確認訓練での活動PR
平成29年6月15日(木)	第1回防災まちづくりセミナー・意見交換会
平成29年6月22日(木)	第2回防災まちづくりセミナー・意見交換会
平成29年6月29日(木)	第3回防災まちづくりセミナー・意見交換会
平成29年7月21日(金)	第15回防災まちづくり委員会
平成29年8月26日(土)	児童ボーンでの活動PR
平成29年9月28日(木)	第16回防災まちづくり委員会
平成29年10月8日(日)	区民運動会での活動PR
平成29年10月14日(土)	すまいの耐震大作戦2017
平成29年11月12日(日)	総合防災訓練での活動PR
平成29年11月22日(水)	第17回防災まちづくり委員会
平成30年1月24日(水)	第18回防災まちづくり委員会
平成30年2月13日(火)	第1回防災まちづくり意見交換会
平成30年2月20日(火)	第2回防災まちづくり意見交換会
平成30年2月27日(火)	第3回防災まちづくり意見交換会
平成30年3月20日(火)	第19回防災まちづくり委員会



#### 『安否確認訓練での活動PR』

- ・防災まちづくりコーナーを設置し、活動PRとともに、防災まちづくりの目標について意見をもらいました。
- ・子どもたちとは、紙工作で住宅の耐震に関する学習などを行いました。

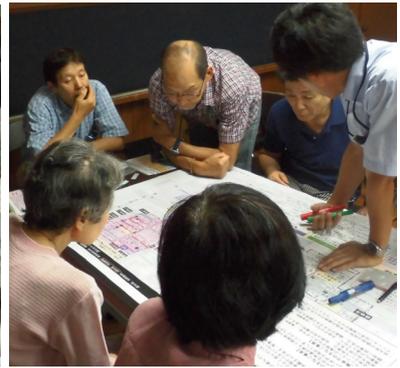
#### 主なご意見

##### 【目指すまちの将来像について】

- ・京都らしい風景を残しつつ、将来へ向けて引き継いでいけると良い。
- ・孫がいるので子どもが安心できることが大事。
- ・絆、つながりが大事だが、不足している。
- ・人のつながりが最近は足りないと感じる。

##### 【防災まちづくりの基本方針について】

- ・まず自分ができることから安全対策をする。
- ・空き家対策は学区と町内会の連携が大事。
- ・袋路は火事が起こると逃げられないと思う。
- ・避難場所がココ！とわかるものがほしい。
- ・井戸の整備を行う。
- ・災害が起きる前から、コミュニケーションを取っておくべきだと思う。



## 『防災まちづくりセミナー・意見交換会』

・災害につよい「いえ・みち・まち」の話として、京都市の各種助成制度の紹介や道の仕組み、住宅の耐震化等に関するセミナーを開催するとともに、「防災まちづくりの目標」や「町内での具体的な対策」などについて、町内ごとにグループに分かれて意見交換を行いました。

### 主なご意見

#### 【目指すまちの将来像について】

- ★「安心・安全」という言葉があり、良いと思う。
- ★他地区から引っ越してきたばかりだが、正親学区は防災などの取組が活発で良い。
- ★将来像をどのように実現していくかが重要である。

#### 【町内で取り組む基本方針と具体的な対策について】

- いえ**
  - ・人命（自分の身）を守ることが一番大事。すぐに対策できることから取り組む。
  - ・学校で災害時の避難方法に関する教育なども必要。
  - ・自分の家から耐震・防火改修をしていく。
  - ・ゲストハウスとして活用されるよりも、空き家を活用して若者に住んでほしい。
  - ・空き家の適正管理、所有者の把握と所有者への啓発を行う。
- みち**
  - ・災害時の避難経路については、町内全員が考える必要がある。
  - ・駐輪などが多いため、適正管理が大事。
  - ・大きな通りに繋がる路地の幅員はしっかりと確保したい。
  - ・家が古く、密集している箇所はセットバックや耐震化や防火対策が重要。
  - ・セットバックした箇所は、将来的には、道路状に整備できると良い。
- まち**
  - ・火災が恐いため、防火対策と合わせて防災ひろばの整備も進める。
  - ・「地域の集合場所」は地域で共有する。看板などがあると良い。
  - ・身近な地域の防災環境の整備については、できることから対策していく。
  - ・路地を大切にしたい保全・再生を検討していきたい。
- コミュニティ**
  - ・防災意識がまだ低いため、こうした活動を継続して取り組んでいく。
  - ・町内会単位や、個人でも災害時の備えは必要。
  - ・若い人がいざというときに力になってくれると良い。
  - ・町内会長や防災部長は毎年代わるため、情報等の引継ぎが大切。



### 『すまいの耐震大作戦 2017』

- ・平成 28 年度に引き続き、学区内の避難を支える大きな道路に繋がる道である土屋町通、仁和寺街道、裏門通、日暮通の沿道の建物（昭和 56 年以前）を対象として、地域と行政、専門家が一緒に各お宅を訪問し、耐震診断等を直接呼び掛けました。

### 取組の結果

- ・全体で約 **70** 軒のお宅に、耐震診断等の呼び掛けや、耐震化の重要性に関する意識啓発を行うことができました。

- ★訪問軒数（ポスティング含む）
- ・土屋町通、仁和寺街道：**45** 軒
- ・裏門通、日暮通：**24** 軒

約 70 軒のうち、2 軒から  
実際に耐震診断の申請  
をいただきました！  
今後も継続して取り組んで  
いきましょう！



### 『区民運動会での活動 PR』

- ・一人ひとりや町内会で取り組むべきことや「防災まちづくり」の進め方についてシールを貼ってご意見をいただきました。



### 『総合防災訓練での活動 PR』

- ・一人ひとりが取り組む「家の中の安全対策」、「地震に強い家づくり」について専門家より紹介し、「防災まちづくり」に関するアンケートを行いました。

### 目指すまちの将来像を実現するために 大切にしたい正親学区の良いところ

- ★町内での各世帯の結びつきが強い！
- ★人と人とのつながりが強い！
- ★お年寄りが子どもたちを大切にしてくれてありがたい！
- ★地域のコミュニティが深く、町内会がしっかりしている！
- ★人情がある！
- ★古い町並みが美しく保たれている！

### 主なご意見（取組のアイデア）

- ・家具の転倒防止グッズの紹介や斡旋。
- ・常時管理者がいない民泊への対応。
- ・路地の入口に袋路か抜け路地かを表示。
- ・各町内に避難経路図を作成。
- ・町内の消火器などの設置場所を共有。
- ・メール等での地域ネットワークを構築。
- ・家庭内での防災に関する情報共有。
- ・学区内の事業者と災害時の物資提供等の協定を締結。



## 『防災まちづくり意見交換会』

・『防災まちづくり計画』の策定に向けて、これまでの取組を通じて住民のみなさんから頂いたご意見やアイデア等を踏まえて整理した『防災まちづくり計画（案）』や、計画の実現に向けた具体的な取組の進め方や役割分担等について確認・意見交換を行いました。

### 主なご意見・アイデア

#### 【エリア別計画について】

- ・空き家の把握は、町内会長同士が連携し、情報を共有する。
- ・学区の軸となる道は、行政と連携してセットバックに関する取り決めや規制を掛ける等の対策を行いながら、幅員を広げたい。
- ・辰巳公園などの拠点となる場所の防災機能を高める。
- ・平日日中の災害に備える対策と併せて、町内の高齢者を把握する。

#### 【計画の実現に向けた具体的な取組の進め方、役割分担について】

- い**え  
・「正親だより」で家の中の安全対策の意識啓発をする。
- い**え  
・回覧板などを用いて、空き家等対策について目立つようにPRする。
- み**ち  
・総会や地蔵盆で、耐震助成等のPRや防災上危険な場所を確認し、学区で共有する。
- み**ち  
・通り抜けの路地が袋路（行き止まりの路地）かを京都市共通のイラストで表示する。
- み**ち  
・回覧板に避難場所や避難経路を掲載して共有する。
- ま**ち  
・学区として防火バケツの設置を呼び掛ける。
- ま**ち  
・小学校と連携し、各町内会の防火バケツに集合場所のステッカーを貼る。
- ま**ち  
・広報板、バス停など、人が溜まる場所に防災情報を掲載する。
- ま**ち  
・学区のモデルとなる路地の整備に取り組む。
- コミュニティ**  
・町内会で災害時に必要な物をリスト化する。
- コミュニティ**  
・要介護者や、ペットがいる世帯の避難などに関するセミナーを開催する。
- コミュニティ**  
・「正親だより」などで、町内会加入の案内をする。
- コミュニティ**  
・子どもや高齢者などが優先的に避難できる体制づくりをする。
- コミュニティ**  
・区民運動会で防災ゲームの実施による意識啓発をする。
- コミュニティ**  
・町内ごとに「防災まちづくり」の目標を立てれば、住民も意識的に取り組める。

#### (4) これまでに取り組んできた「すぐに取り組む具体的な対策」

正親学区では、住民のみなさんに広く「防災まちづくり」が浸透し、『防災まちづくり計画』が認知されるよう、平成27年度の「防災まちあるき」や「意見交換会」、平成28年度の「防災まちづくりセミナー・意見交換会」等を行ってきました。そこでいただいたご意見を踏まえて、住民のみなさんと防災まちづくり委員会が連携して、「すぐに取り組む具体的な対策」を着実に進めてきました。これまでに、袋路の2方向避難経路の確保など、全5箇所以下で以下の対策を実施してきました。

具体的な対策を進めるに当たっては、関係者の協力をいただき、京都市の助成制度を活用しながら、まちの安全性を高める対策を実施しています。

今後も、これまでの成功事例を参考にしながら、住民のみなさんと防災まちづくり委員会が連携して、災害につよいまちに向けた具体的な対策を進めていきます。

#### ●袋路（行き止まりの路地）への緊急避難扉の設置

災害時に、袋路の入口が建物の倒壊等によって塞がれ、避難や救助ができなくなるおそれがあるため、住民のみなさんとの協力のもと、東西俵屋本町、加賀屋町で袋路の奥から安全に避難できる緊急避難扉を設置しました。

 設置前 (H27.6)	 設置後 (H28.3)	 設置前 (H27.6)	 設置後 (H28.3)
<b>東西俵屋本町</b>		<b>加賀屋町</b>	
<b>活用した市の助成制度</b>			
<b>緊急避難経路整備事業</b>			
内 容：袋路等の奥から安全な避難経路を確保する工事費を補助（避難扉の設置等）			

## ●老朽木造建築物の除却

地震が起こった時に建物が倒壊したり、火災時に延焼のおそれがあるため、所有者のご理解・ご協力を得て、山里町で袋路始端部の老朽木造建築物を除却しました。



山里町

活用した市の助成制度

### 老朽木造建築物除却事業

内 容：古くなった木造建築物を除却する工事費を補助

## ●袋路（行き止まりの路地）始端部の整備

袋路は、災害時に入口部の古い建物や工作物等の倒壊によって、避難や救助に支障をきたすおそれがあるため、住民のみなさんの協力のもと、伊勢殿構町で、袋路始端部の表札門の安全性を高める改修工事を行いました。



伊勢殿構町

活用した市の助成制度

### 袋路等始端部整備事業

内 容：袋路等の入口部において、避難上支障となる工作物等の撤去や改修など、避難安全性を向上させる工事費を補助

## ●古いブロック塀の改修

幅員の狭い路地に面する古いブロック塀などは、災害時の倒壊により避難や救助に支障をきたすおそれがあるため、住民のみなさんの協力のもと、泰童町で路地に面する古いブロック塀の改修工事を行いました。



泰童町

活用した市の助成制度

### 危険ブロック塀等改善事業

内 容：古いブロック塀等の除却，塀や生垣等を新設する  
工事費を補助

## 2. 正親学区の概要

### (1) 市街地の成り立ち

正親学区の校区は、おおよそ北は一条通、南は下長者町通、東は松屋町通、西は千本通に囲まれ、嘉楽小学校の廃校とともに編入した笹山町二丁目と伊勢殿構町を加えた地区となっています。

この地は、西暦 794 年、桓武天皇により計画的に建設された平安京の昔に歴史を留め、千本丸太町にあった朝堂院大極殿を中心に広がる平安宮（大内裏）の地であり、大蔵省や主殿寮などの諸官庁が建っていました。しかし、その後の度重なる火災で焦土と化し、鎌倉時代には一面野原となり、内野と呼ばれるようになりました。

安土桃山時代になると、豊臣秀吉の邸宅「聚楽第」がこの地に造営されました。周辺には諸侯の邸宅が立ち並び、それらの建物や屋敷、井戸などが町名となり、今も区内に多く残っています。

明治 22 年頃の地図をみると、現在の市街地の骨格となる千本通や中立売通、一条通や浄福寺通などの学区内の主要な道も開通しており、浄福寺や智恵光院などの寺社や大きな敷地を有する邸宅等が多くみられます。

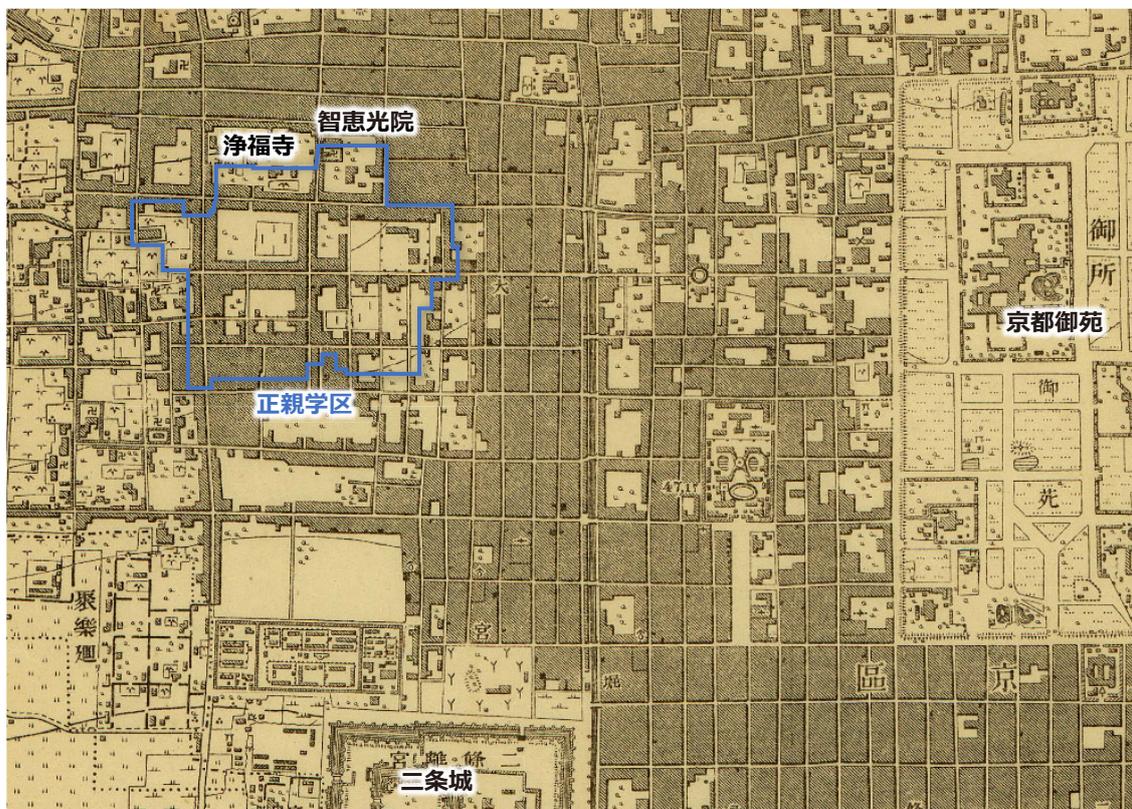


図. 明治 22 年頃の正親学区の様子

(出典：国際日本文化研究センター所蔵地図データベース (資料名：京都、地図番号：002469278))

大正初期には、千本通の市電の开通により、道路の拡幅等が行われ、現在の正親学区の原型が形成され始め、幹線道路である千本通や中立売通周辺を中心に宅地化が進み、それに伴い、幅員の狭い路地も形成されてきたことが伺えます。

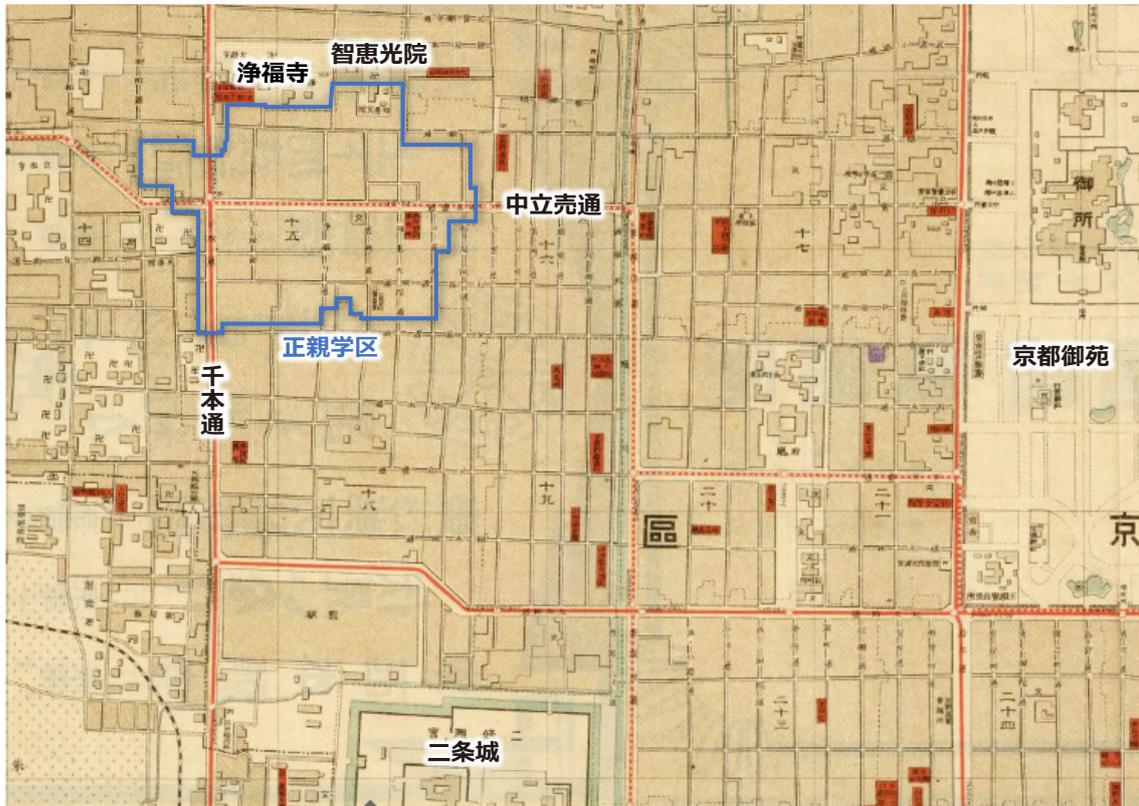


図. 大正2年頃の正親学区の様子

(出典：国際日本文化研究センター所蔵地図データベース（資料名：京都市街全圖、地図番号：002754893）)

その後、市街化が進む中で、智恵光院通が拡幅され、正親学区の骨格となる幹線道路が整備されていきました。

一条通や浄福寺通、上長者町通沿道の地域や、西仲筋町や新白水丸町のような古くから寺社や大きな敷地を有する工場等があった地域では、戦時期に空襲の際の延焼防止を目的とした空地帯（疎開空地）が設けられず、戦前からの路地や木造住宅等が数多く残ったままとなり、現在の東西俵屋本町や西富仲町などのように、古い木造住宅や路地、袋路など集中する地域が形成されています。

一方で、中立売通北側の東西俵屋町南組などで新たな宅地開発が進み、智恵光院通沿道の疎開空地であった山里町や亀木町、須浜町などでは、事業所やマンション官舎などの大規模な建物が開発されていき、今日の正親学区が形成されています。

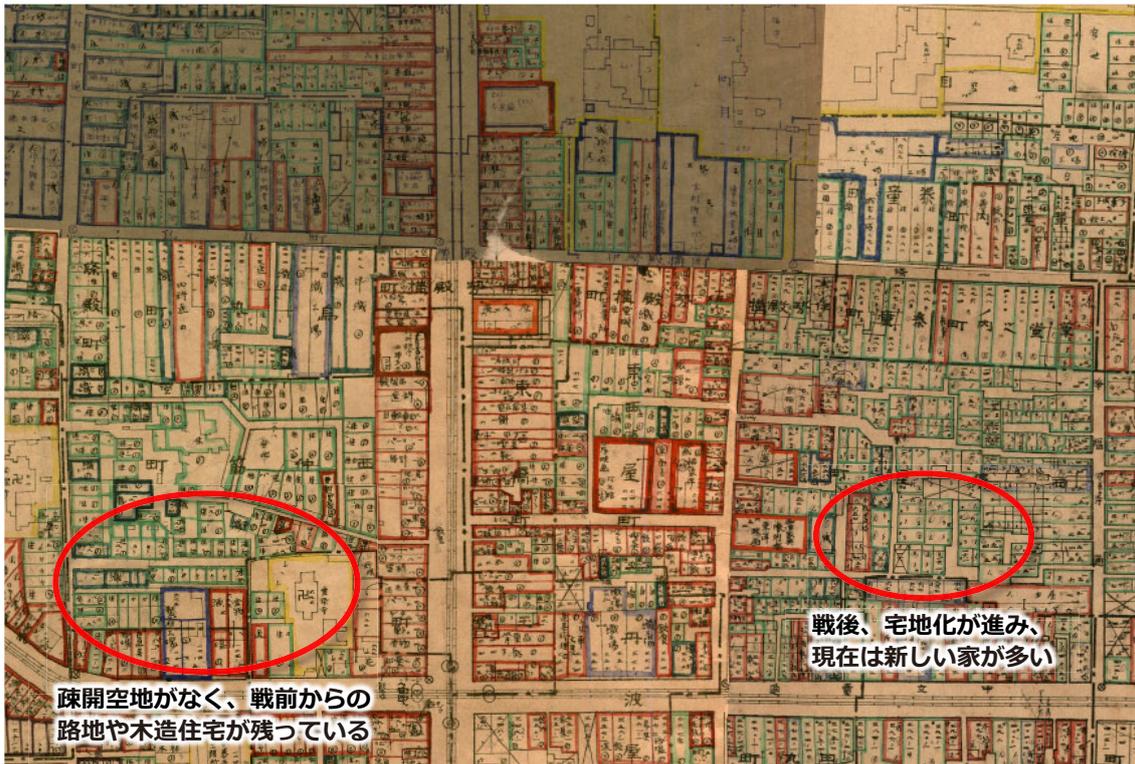


図. 戦前の正親学区の様子 (中立売通北側、千本通付近)

(出典：京都市明細図、所蔵：京都府立総合資料館)

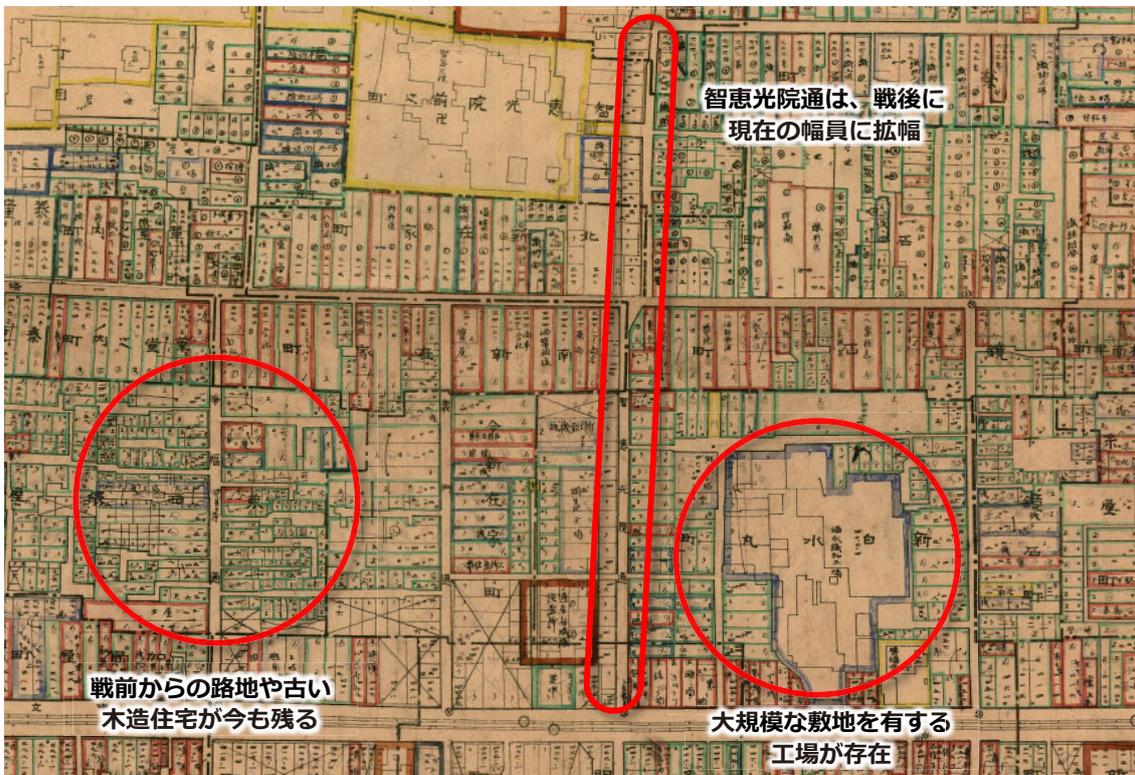
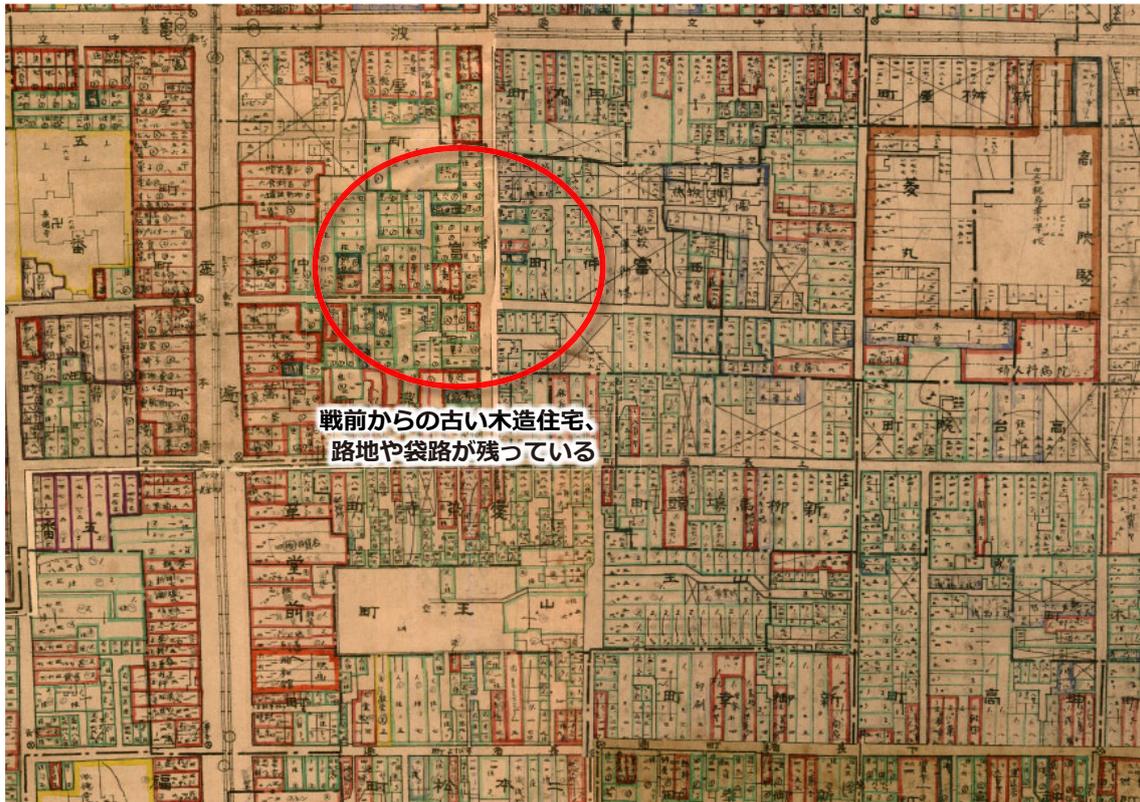


図. 戦前の正親学区の様子 (中立売通北側、智恵光院通付近)

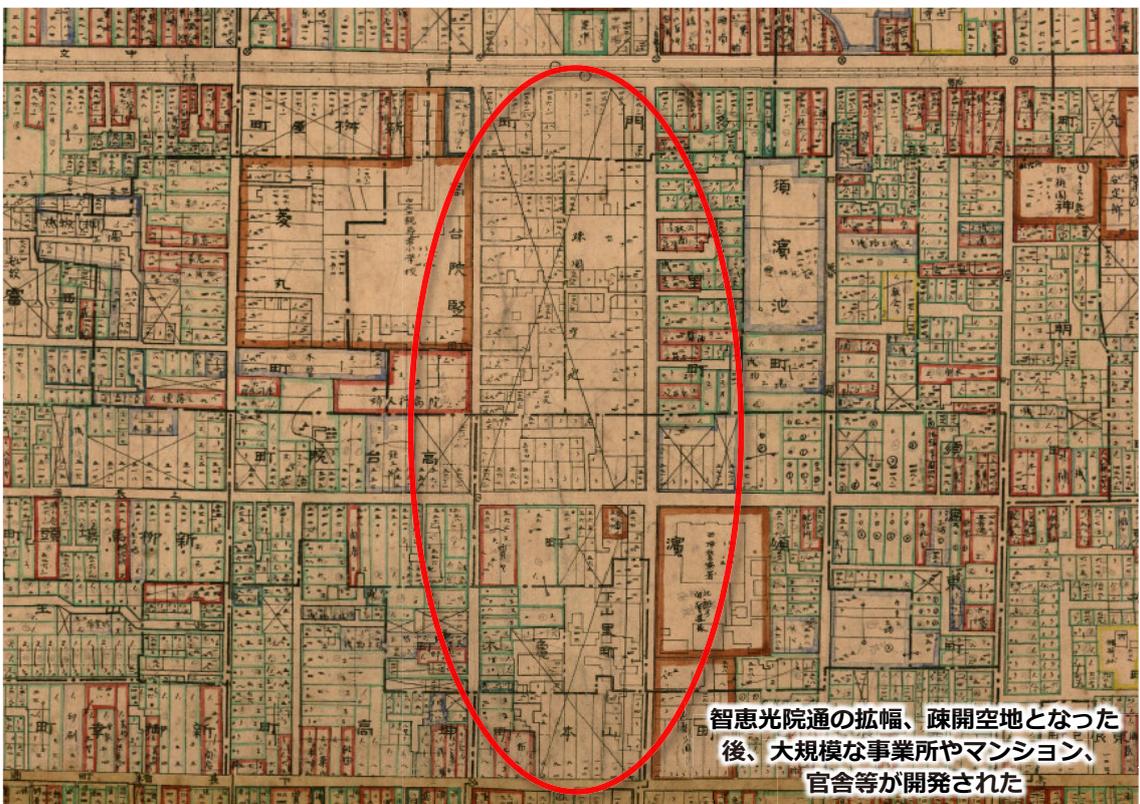
(出典：京都市明細図、所蔵：京都府立総合資料館)



戦前からの古い木造住宅、  
路地や袋路が残っている

図. 戦前の正親学区の様子（中立売通南側、千本通付近）

（出典：京都市明細図、所蔵：京都府立総合資料館）



智恵光院通の拡幅、疎開空地となった  
後、大規模な事業所やマンション、  
官舎等が開発された

図. 戦前の正親学区の様子（中立売通南側、智恵光院通付近）

（出典：京都市明細図、所蔵：京都府立総合資料館）

## (2) 現状と課題

# 「い え」

### 現状

- ▶ 中立売通や智恵光院通などの幹線道路沿道は、マンションなど大規模な建物が立地していますが、幹線道路の内側を中心に木造住宅が多く残っています。
- ▶ 東西俵屋町など、路地が入り組み、建物が密集している場所も見られます。
- ▶ 一条通や上長者町通などでは、京町家が比較的多く残っており、風情ある町並みが形成されています。
- ▶ 古い木造住宅の建物の所有者は高齢者が多く、耐震改修が行われていない住宅も見られます。
- ▶ 空き家やゲストハウスが増加しており、路地の中などでは管理が不十分な空き家も見られます。



### 課題

- ▶ 地震などの災害が発生した場合、建物が倒壊したり、火が燃え広がるなどの危険性があります。
- ▶ 特に、耐震性の低い昭和56年以前の木造住宅が残っている幅員の狭い路地は、建物の倒壊等によって、災害時の避難に影響が出るおそれがあります。
- ▶ 適正な管理や利活用がされず、老朽化した空き家が増加することによって、災害時に建物の倒壊や火災の危険性が高まるだけでなく、防犯や草木の繁茂など周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。

### 住民のみなさんの主なご意見

- ・ 災害時に自宅から逃げ出せるように、無事に家から出られる工夫をする。
- ・ 家具の固定、タンスの上に物を置かないなど、自分で考え、自分で行動することが大事。
- ・ 地震に強い家にする意識を持ち、自宅の耐震診断を受け、自宅を耐震・防火改修する。
- ・ 住宅の壁や屋根など、住宅の外側の防火が大切。
- ・ 建物の耐震・防火改修を呼び掛ける（特に地域の集合場所周辺や主要な道の沿道の建物）。
- ・ 借家が多く、耐震化には所有者の確認や整理が必要。
- ・ 耐震セミナーの開催や耐震助成のPR・回覧など、耐震の取組を町内、学区全体に広げていく。
- ・ 学校で避難の仕方の教育が必要（子どもからお年寄りまで、みんながわかるような教育）。
- ・ 老朽化した家は除却して更地にすることも考える。
- ・ 空き家の把握、情報を共有し、所有者に適正な管理や活用に関する啓発を行う。
- ・ 空き家対策の勉強会、高齢者が集まる場所などで空き家などに関する講座を行う。
- ・ ゲストハウスについては、管理者とコミュニケーションをとり、災害時の対応を確認する。

# 「みち」

## 現状

- ▶学区の中央を横断する中立売通、南北に通過する千本通と智恵光院通、これらを繋ぐ一条通や上長者町通が住民の日常生活を支えています。
- ▶これらの道路の内側では、幅員4m未満の狭い路地や袋路が多く見られます。
- ▶道幅が狭い路地には、バイクや自転車、プランターなどが置かれ、通りにくくなっているところが見られます。
- ▶路地に段差があったり、舗装がガタガタのところも見られます。
- ▶敷地面積が十分ではないなどの理由から建替えが進まずに、結果として道幅が広がらないままになっている路地も見られます。



## 課題

- ▶災害時に沿道の建物の倒壊や延焼によって、「地域の集合場所」や「避難所」への避難や緊急車両の通行に支障をきたすおそれがあります。
- ▶幅員の狭い路地や袋路では、災害時に建物の倒壊に加えて、乱雑に置かれた物の転倒や路地の段差等によって、災害時の安全な避難に支障をきたすおそれがあります。
- ▶特に幅員の狭い路地や袋路では、建替え等が困難な敷地が多くあります。

### 住民のみなさんの主なご意見

- ・千本通などの幹線道路、一条通などの幹線道路を補完する道路、仁和寺街道などの災害時の避難の際に重要となる避難経路の沿道建物の耐震化を進める。
- ・千本通に抜ける路地沿いには店舗や古い建物が多く、一人暮らしや高齢者も多いため、うまく耐震化を進められるとよい。
- ・大きい通りに繋がる路地の幅員はしっかりと確保したい。
- ・自宅から「地域の集合場所」、「地域の集合場所」から「避難所」への避難経路の安全性を確認する。
- ・袋路は、緊急避難扉の設置など2方向避難の確保、始端部建物の耐震化・防火対策を進める。
- ・路地の段差等や倒壊しそうなブロック塀を改善する。
- ・個人でも、植木や自転車等の適正管理、駐車・駐輪等に対する声掛けをする。
- ・路地の適正管理について、路地に暮らす住民同士でルールをつくる。
- ・4m未満の箇所は建替え時にセットバックを行い、道路としての整備を進める。

# 「ま ち」

## 現状

- ▶学区中央に正親小学校があり、学区南東に辰巳公園、北東に橘公園があります。
- ▶中立売通や千本通などの幹線道路の沿道には、マンションやパチンコ店などの大きな建物が立地しています。
- ▶「地域の集合場所」を知らない人も見られます。
- ▶学区内に井戸が点在していますが、中には使用されていないものや管理が不十分なものもあります。
- ▶浄福寺通に面した東西俵屋町では、建替え等ができない路地が集中しており、老朽化した空き家が多い路地も見られます。



## 課題

- ▶災害時に一時的な避難ができ、延焼を防止する空間となる広場が少ないため、安全に避難できず、火が燃え広がるおそれがあります。
- ▶「地域の集合場所」を知らない人も見られ、災害時の円滑な避難への影響が不安です。
- ▶学区内には、敷地が狭いなどの理由で建替えができない老朽化した建物も見られることから、災害時に建物の倒壊や延焼による被害が大きくなるおそれがあります。

### 住民のみなさんの主なご意見

- ・学区界周辺住民の避難も検討する（隣接学区との連携）。
- ・安全な避難場所が近所がないので、安全な避難場所がほしい。
- ・火事による燃え広がりが恐いため、防火対策と合わせて防災ひろばの整備を進める。
- ・スーパードームなどの安全な大型店舗への避難も検討すべき。
- ・お年寄りが多く、小学校が避難所だと遠い。
- ・「地域の集合場所」を再確認・再検討し、住民みんなで共有する。
- ・学区全体で「地域の集合場所」や避難経路に看板を設置する。
- ・安否確認など、「地域の集合場所」に集まってからの行動を確認する。
- ・町内会に入っていない人は「地域の集合場所」を知らない。マンション住民には、管理会社等がルールを作って対応してほしい。
- ・井戸の使い道を考え、使っていない井戸には蓋をする（適正管理をする）。
- ・災害時に使える井戸を確認し、協力を呼び掛ける。
- ・高齢者への呼び掛け用の拡声器や防災ベルなどを町内で整備し、メンテナンスも怠らない。
- ・路地を大切にしたい保全・再生を検討していきたい。

# 「コミュニティ」

## 現状

- ▶ 高齢化が進み、一人暮らしの高齢者が多くなっています。
- ▶ 地域で集まる機会が減り、マンションや空き家の増加もあって、地域の住民同士の交流が少なくなっています。
- ▶ マンションなどでは町内会に加入しない世帯が見られるなど、地域の中で日常的なコミュニケーションがとりにくくなっています。
- ▶ スーパーなどの大型店舗、商店街、お寺が立地しています。
- ▶ 防災訓練などの取組に新たな方が参加されることが少なくなっています。



## 課題

- ▶ 高齢者が多くなっており、災害時の安否確認や安全な避難誘導等の体制が心配されます。
- ▶ 地域のつながりが弱くなることで、地域の防災力が低下したり、今後の防災に関する継続した取組に支障をきたすおそれがあります。
- ▶ 町内会に加入していない世帯が多くなっており、災害時の安否確認や緊急物資の提供等に支障をきたすおそれがあります。
- ▶ 学区全体で防災まちづくりの取組を継続していく体制や仕組みを整える必要があります。

### 住民のみなさんの主なご意見

- 日頃から防災意識を持ち、防災の取組に関心を持ってもらえるように呼び掛ける。
- 高齢者、一人暮らし高齢者の把握と見守り、安否確認のためのルールや体制を整える。
- 町内会でそれぞれの持つ知識、経験（阪神・淡路大震災の経験等）を伝え、情報交換する場を設ける（情報等の引継ぎもしっかりと行う）。
- 町内の高齢世帯、避難経路をみんなが把握しておくべき。また、高齢者の避難の安全性、避難所での生活の質も考える。
- 近隣の家の人や防火バケツの場所、避難経路について把握しておく。
- 防災訓練等をして参加する人が限られている。
- 日々の声掛け、コミュニケーションを大事にし、隣接する町内とも常時から交流する。
- 飲食店と一般住宅の交流があると良い。
- 町内会への加入を促す情報発信などを、京都市からも継続的に行ってほしい。
- 地藏盆や古紙回収などでの情報交換や、ママ友グループの活動との連携などができると良い。
- 災害時の協力について、近隣の店舗（スーパーやコンビニなど）と協定を結ぶ。

### (3) 市街地の特性図 (軸とエリアの設定)

#### 軸

**市の広域的な幹線道路**  
(千本通、中立売通、智恵光院通)  
▶ 京都市全体において、災害時の救援活動や物資輸送を支える重要な道路

**学区の防災上重要な道路**  
(一条通、浄福寺通、上長者町通)  
▶ 市の広域的な幹線道路を補完し、災害時に住民の避難を支える学区内の防災上重要な道路

**避難を支える大きな道路につながる道**  
(土屋町通、仁和寺街道、裏門通、日暮通)  
▶ 学区内の各町内の日常生活を支え、市の広域的な幹線道路や防災上重要な道路への避難経路となる道

#### エリア

**延長の長い通り抜けの路地が多いエリア**  
・ 中立売通の北側エリア。広域的な幹線道路である千本通や智恵光院通、住民の日常生活を支える一条通や浄福寺通が通過している

- ◆ 延長の長い路地が多く、幅の狭い道や袋路もみられる。
- ◆ 建替えによりセットバック (道路後退) している箇所もあるが、段差があるなど、道路状に整備されていないところもある。
- ◆ 一条通や裏門通沿いは、マンション等に建替わり、町並みが変わっているところもみられるが、京町家など京都らしい町並みが残っているところもある。
- ◆ 空き家は比較的少ない。
- ◆ 建物が密集し、避難や延焼防止に役立つ広場が少ない。

**幅の狭い袋路が集中するエリア**  
・ 浄福寺通に面して、東西に幅の狭い袋路や建物が密集している

- ◆ 幅の狭い袋路が集中しており、段差や舗装が未整備のところもみられる。
- ◆ 再建築できない敷地が多く、老朽化した空き家が多い。
- ◆ トンネル路地や京町家などの京都らしい町並みが比較的残っている。
- ◆ 建物が密集し、避難や延焼防止に役立つ広場が少ない。

**路地が少なく、幅の広い道路が通過するエリア**  
・ 避難所である正親小学校があり、中立売通などの幹線道路や、上長者町通や裏門通など幅員4m以上の道路が通過している

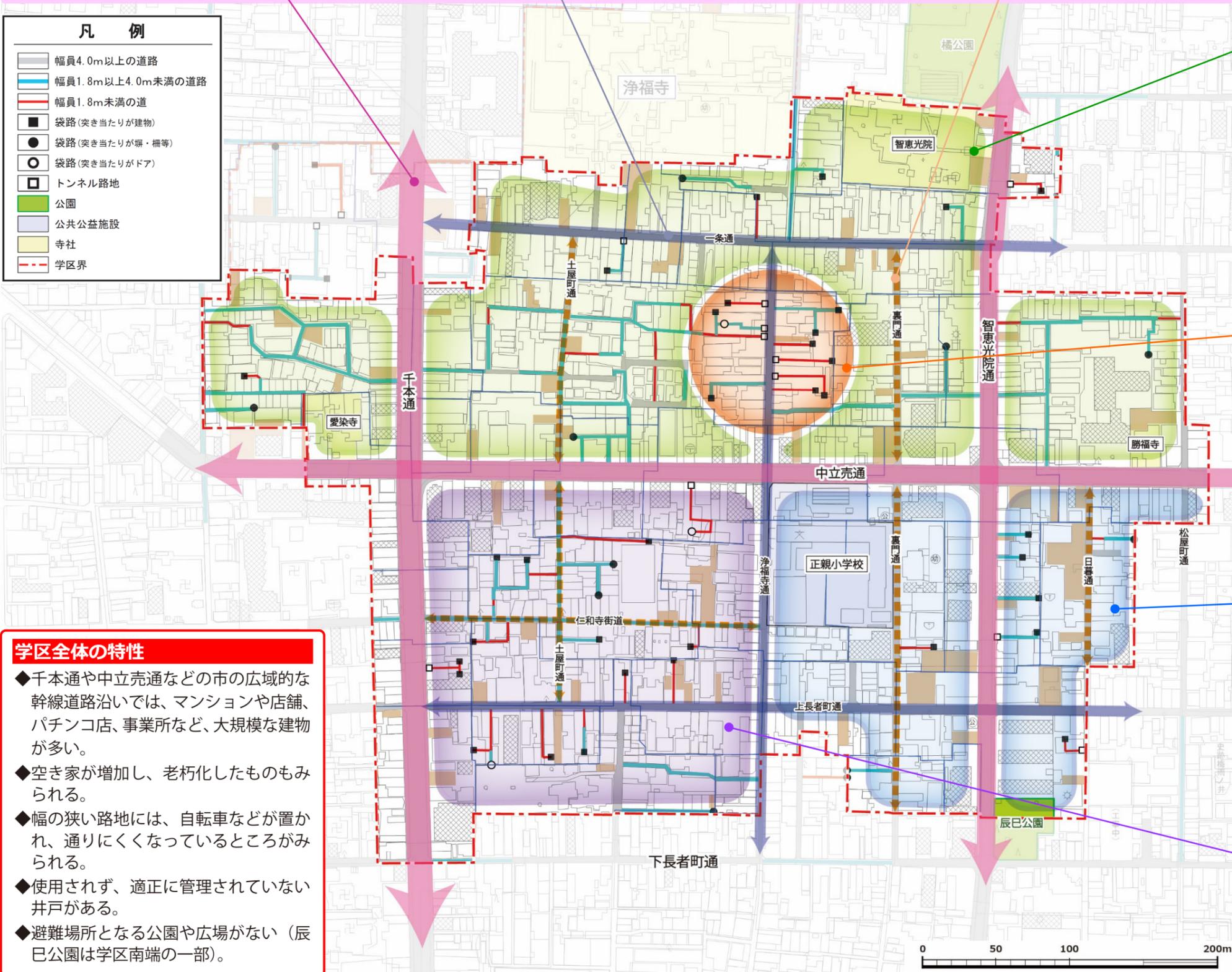
- ◆ 智恵光院通沿いは建替えが進んでいるが、延長の短い袋路がみられる。
- ◆ 裏門通沿いは建替えが進み、新しい建物が比較的多い。
- ◆ 上長者通沿いは、古い木造の建物が比較的残っている。
- ◆ 空き家は比較的少ない。
- ◆ 隣接学区との境界に辰巳公園がある。

**延長の短い袋路が集中するエリア**  
・ 千本通と中立売通、浄福寺通の内側で、上長者町通、土屋町通、仁和寺街道が通過している

- ◆ 延長の短い袋路が多く、幅員の狭い袋路もみられる。(再建築ができない敷地が多い)
- ◆ 上長者町通沿いでは、京町家が比較的残っている。
- ◆ 古い木造の建物が多。
- ◆ 空き家が多く、中には老朽化したものもみられる。

**凡例**

	幅員4.0m以上の道路
	幅員1.8m以上4.0m未満の道路
	幅員1.8m未満の道
	袋路(突き当たりが建物)
	袋路(突き当たりが塀・柵等)
	袋路(突き当たりがドア)
	トンネル路地
	公園
	公共施設
	寺社
	学区界



**学区全体の特性**

- ◆ 千本通や中立売通などの市の広域的な幹線道路沿いでは、マンションや店舗、パチンコ店、事業所など、大規模な建物が多。
- ◆ 空き家が増加し、老朽化したものもみられる。
- ◆ 幅の狭い路地には、自転車などが置かれ、通りにくくなっているところもみられる。
- ◆ 使用されず、適正に管理されていない井戸がある。
- ◆ 避難場所となる公園や広場がない (辰巳公園は学区南端の一部)。

### 3. 「防災まちづくり」の目標

学区全体で、「防災まちづくり」に継続して取り組んでいくため、正親学区のまちの成り立ちや現状・課題、これまでの取組の中でお聞きした住民のみなさんの想いを踏まえ、目指すまちの将来像や「防災まちづくり」の基本方針など「防災まちづくり」の目標を定めます。

#### (1) 目指すまちの将来像

## 地域の絆を深め、みんなで作る 安心・安全、住みよきまち 正親

私たちの暮らす正親学区では、古くからの歴史に培われ、形づくられてきた京都らしい町家やトンネル路地などの町並みや風景が、先人たちから守り・育まれてきました。今までどおりの安全で暮らしやすいまちを大切にしつつ、世代を問わず、地域みんなが日頃から声をかけ合い、協力しながら、未来に向けて災害につよく安全・安心な住みよきまちをつくっていきます。

#### 町並み・風景

- ・路地や長屋、トンネル路地等の町並みや風景を維持していきたい！
- ・古い町並みが美しく保たれている！
- ・古い町並みと人情がある！

#### 安心・安全

- ・今までどおり安全なまちがいい！
- ・「世代を問わず、みんなが安心できる」まちにしたい！



#### 住民のみなさんの想い



#### コミュニティ

- ・人と人のつながりが強い！ 地域のコミュニティが深い！
- ・コミュニケーションが充実し、町内会がしっかりしている！
- ・「みんなが笑顔であいさつできる」まちにしたい！
- ・町内での各世帯の結びつきが強い！
- ・お年寄りが子どもたちを大切にしてくれてありがたい！
- ・「みんなが笑顔であいさつできる」まちにしたい！
- ・若者から高齢者まで、みんなで一緒に住み続けたい！

## (2) 防災まちづくりの基本方針

目指すまちの将来像を実現するため、「いえ」、「みち」、「まち」、「コミュニティ」の視点から、「防災まちづくり」の基本方針を以下のように定めます。

「いえ」

(P23 参照)

方針 1 | 家の中の安全対策に取り組む

方針 2 | 地震や火災に強い家づくりに取り組む

方針 3 | 空き家等対策に取り組む

「みち」

(P24 参照)

方針 4 | 災害時の避難経路を確認・共有する

方針 5 | 路地を日頃から適切に管理する

方針 6 | 安全に避難できる「路地」をつくる

方針 7 | 骨格となる道の安全性を高める

「まち」

(P25 参照)

方針 8 | 安全な避難場所をつくる

方針 9 | 身近な地域の防災環境を整える

方針 10 | 路地の雰囲気将来につなぐ 路地単位の計画づくりを進める

「コミュニティ」

(P26 参照)

方針 11 | 町内会の防災力を高める

方針 12 | コミュニケーションを充実する

方針 13 | 「防災まちづくり」の体制を整える

正親学区の現状や課題、市街地の特性等から、  
どんな取組が必要か確認しましょう！



ひにゃんこ



ふくろうじい

## 「いえ」に関する基本方針

耐震性に不安がある建物や路地が入り組んで建物が密集しているところもあるね。



空き家やゲストハウスも増えてきているね。



地震が起きて建物が倒れたり、火災で火が燃え広がったりする危険があるんだよ。

空き家も適切に管理し、地域で見守り、活用することが大切だね。



### 方針1 | 家の中の安全対策に取り組む

- ▶一人ひとりが、災害が起こった時に自宅から逃げ出せるよう、家具の転倒防止や火災報知器、感震ブレーカーの設置など、できるところから家の安全対策を進めましょう。
- ▶小学校では、地域と連携しながら、「防災まちづくり」に関する学習に取り組みます。

### 方針2 | 地震や火災に強い家づくりに取り組む

- ▶耐震診断、耐震・防火改修を行うなど、自宅を地震や火災につよい家にしましょう。
- ▶借家については、所有者との連携のもとで、耐震化・防火対策を進めましょう。

### 方針3 | 空き家等対策に取り組む

- ▶空き家所有者は、空き家をそのまま放置せずに、事業者等と連携して適正な管理や活用に取り組みましょう。
- ▶学区と町内会等が連携して、空き家の情報を把握・管理します。
- ▶ゲストハウスについては、管理者とのコミュニケーションを図り、常時の管理・運営方法等に加え、災害時の対応を確認しましょう。

## 「みち」に関する基本方針

幅が狭い道や行き止まりの道が多くみられるね。  
自転車やプランターが適切に管理されている路地もあるね。



幅の狭い道や行き止まりの道では、地震で家や塀が倒れて通れなくなったり、道に物が置かれていてうまく逃げられないこともあるんだよ。



### 方針4 | 災害時の避難経路を確認・共有する

- ▶一人ひとりが、自宅から「地域の集合場所」、「地域の集合場所」から「避難所」までの避難経路の安全性を確認しましょう。
- ▶町内ごとに、掲示板に避難経路などを示した地図を掲示するなど、町内全体で災害時の避難経路を周知・共有しましょう。

### 方針5 | 路地を日頃から適切に管理する

- ▶一人ひとりが、日頃から植木や自転車などを整理整頓しましょう。
- ▶路地の適正管理を呼び掛け、必要に応じて適正管理のルールをつくりましょう。

### 方針6 | 安全に避難できる「路地」をつくる

- ▶袋路は緊急避難扉の設置など2方向避難の確保、始端部建物の耐震化・防火対策を進めます。
- ▶路地の段差の解消や古いブロック塀の改善などにより路地の安全性を高めます。
- ▶災害時に安全に避難ができるように、路地の入口に、袋路（行き止まりの路地）が抜け路地かがわかるように表示します。

### 方針7 | 骨格となる道の安全性を高める

- ▶中立売通などの市の広域的な幹線道路、一条通などの学区の防災上重要な道路、土屋町通などの避難を支える大きな道路につながる道の沿道建物の耐震化・防火対策を進めます。
- ▶学区内の災害時の避難を支える大きな道路につながる道で、4m未満の箇所は建替え時にセットバックを行い、道路状の整備を進めます。

## 「まち」に関する基本方針

正親には公園や広場が少ないね。駐車場や空き地など、一時的に避難できる空間が身近にあるといいね。



地震などの災害が起きたときに集まれる場所をつくることとあわせて、消火器や防火バケツなどの防災設備があることも大切だね。



### 方針8 | 安全な避難場所をつくる

- ▶避難所（正親小学校）の防災機能の維持・充実を図ります。
- ▶辰巳公園など、一時的に避難できる身近な場所を確認・共有しましょう。
- ▶平面駐車場や空き地、お寺、パチンコ店などの安全な大型店舗など、災害時に避難できる身近な場所を確認し、所有者などに対して災害時の一時的な避難への協力を呼び掛けます。
- ▶「防災ひろば」など、災害時の避難や延焼防止に役立つ空間をつくります。
- ▶各町内の「地域の集合場所」を一人ひとりが確認するとともに、地図や看板などを作成しながら、町内で周知・共有します。

### 方針9 | 身近な地域の防災環境を整える

- ▶災害時に使える井戸の確認や、防災ベルなどの整備、消火器や防火バケツなどの定期的なメンテナンスを行うなど、町内の防災機能を高めましょう。
- ▶マンション管理者に対して、災害時の安否確認や避難に関するルールをつくるなど、災害時の安全確保に向けた取組を呼び掛けます。
- ▶学区が事業者等と連携して、災害時にも使用できる災害救援自販機の設置を進めます。

### 方針10 | 路地の雰囲気将来につなぐ 路地単位の計画づくりを進める

- ▶路地や建物が密集するエリアでは、住民のみなさんや土地所有者等との話し合いを重ね、路地の雰囲気を残しながら建物の維持・更新がしやすい環境づくりなど、それぞれの路地の特性にあった災害につよい路地単位の計画づくりを進めます。

## 「コミュニティ」に関する基本方針



高齢化が進んだり、マンションが増えているからこそ、地域内の交流が大切だね。

地域の絆を深めることで、いざというときに助け合うことができるね。



### 方針 11 | 町内会の防災力を高める

- ▶一人ひとりが、日頃から防災意識を持ち、災害への備えを進め、町内会や学区の防災の取組に関心を持ちましょう。
- ▶一人暮らしの高齢者などの把握、見守り、災害時の安否確認、避難などのルールや仕組みを整えましょう。
- ▶消火器や防火バケツの適切な配置・維持管理、防災訓練や夜間の見回りなど、町内会の自主的な防災活動を進めましょう。
- ▶住民に町内活動への参加を広く呼び掛けながら、危険な場所の確認など、災害時に役立つ情報の把握・共有に取り組みましょう。
- ▶町内会は、お寺の一時的な避難場所としての活用や、商店会などと連携した耐震化の呼び掛けなど、地域の防災力を高める取組を進めましょう。

### 方針 12 | コミュニケーションを充実する

- ▶町内会は、災害時に安否確認や避難誘導などの救援活動がスムーズに行えるよう、マンションや空き家所有者、ゲストハウス管理者との日頃からのコミュニケーションを大切にしましょう。
- ▶災害時の安否確認などに備え、様々な機会での情報発信を行いながら、マンション住民などの町内会への加入を促進しましょう。
- ▶日頃からのコミュニケーションを活かしながら、メールや電話、SNS など様々な手段による緊急時のネットワークを整えます。

### 方針 13 | 「防災まちづくり」の体制を整える

- ▶町内の防災リーダーの育成や自主防災会との情報共有など、学区と町内会の連携を充実します。
- ▶学区の行事と連携して、住民のみなさんの意見を定期的に把握・共有する機会をつくります。
- ▶災害時に備え、緊急支援物資の提供や住民の避難等に関して、学区内のスーパーや薬局などとの連携を維持・充実します。

# 防災まちづくり方針図

## 市の広域的な幹線道路

方針7

- 千本通や中立売通などは、市を広域的に通過し、災害時の救援活動や物資輸送等を支える重要な道路でもあるため、沿道の大規模な建物の倒壊や延焼が災害時の避難の障害とならないよう耐震化・防火対策を進めます。

## 避難を支える大きな道路につながる道

方針7

- 土屋町通や仁和寺街道などは、身近な町内の生活を支える道として学区内を通過し、防災上重要な道路への避難経路となるため、沿道建物の耐震化・防火対策を進め、4.0m未満の道については、建替え時に合わせて幅員を確保します。

## 学区の防災上重要な道路

方針7

- 一条通や浄福寺通などは、隣接する学区を含め、学区全体を通過し、災害時の住民の避難を支える重要な道路となるため、沿道建物の耐震化・防火対策を進めます。

## 延長の長い通り抜けの路地が多いエリア

方針6

- 安全に避難できる「路地」をつくります。  
▶袋路等始端部の耐震化・防火対策、古いブロック塀の改善など

方針7

- 骨格となる道の安全性を高めます。  
▶避難経路となる道の幅員の確保、道路状の整備など

方針8

- 安全な避難場所をつくります。  
▶空き家を除却した跡地、空き地等を活用した「防災ひろば」の整備など

⇒ P29. エリア別計画

## 幅の狭い袋路が集中するエリア

方針10

- 路地の雰囲気将来につなぐ路地単位の計画づくりを進めます。  
▶路地の雰囲気を残しながら建物の維持・更新がしやすい環境づくりなど、路地の特性にあった災害につよい路地単位の計画づくりなど

⇒ P31. エリア別計画

## 延長の短い袋路が集中するエリア

方針6

- 安全に避難できる「路地」をつくります。  
▶袋路始端部の耐震化・防火対策、2方向避難の確保、建替え等が難しい幅が狭い袋路に合った対策など

方針7

- 骨格となる道の安全性を高めます。  
▶避難経路となる道の幅員の確保、道路状の整備など

⇒ P30. エリア別計画

## 路地が少なく、幅の広い道路が通過するエリア

方針6

- 安全に避難できる「路地」をつくります。  
▶袋路始端部の耐震化・防火対策など

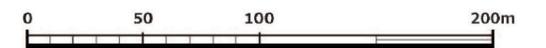
方針8

- 安全な避難場所をつくります。  
▶避難所の防災機能の維持・充実、一時的に避難できる身近な場所の確認など

⇒ P30. エリア別計画

方針8

- 正親小学校の避難所としての防災機能の維持・充実を図るとともに、辰巳公園など、一時的に避難できる身近な場所を確認・共有します。



## 4. エリア別計画

### (1) エリア別計画

正親学区は、市街地の成り立ちや都市基盤の整備状況などによって、市街地の特性や防災上の課題が異なっています。

エリア別計画では、学区を市街地の特性ごとに4つのエリアに分けています。「防災まちあるき」や「防災まちづくり意見交換会」など、様々な機会でもいただいた住民のみなさんの思いやアイデア等を踏まえ、市街地の特性や防災上の課題に応じた具体的な取組を示します。

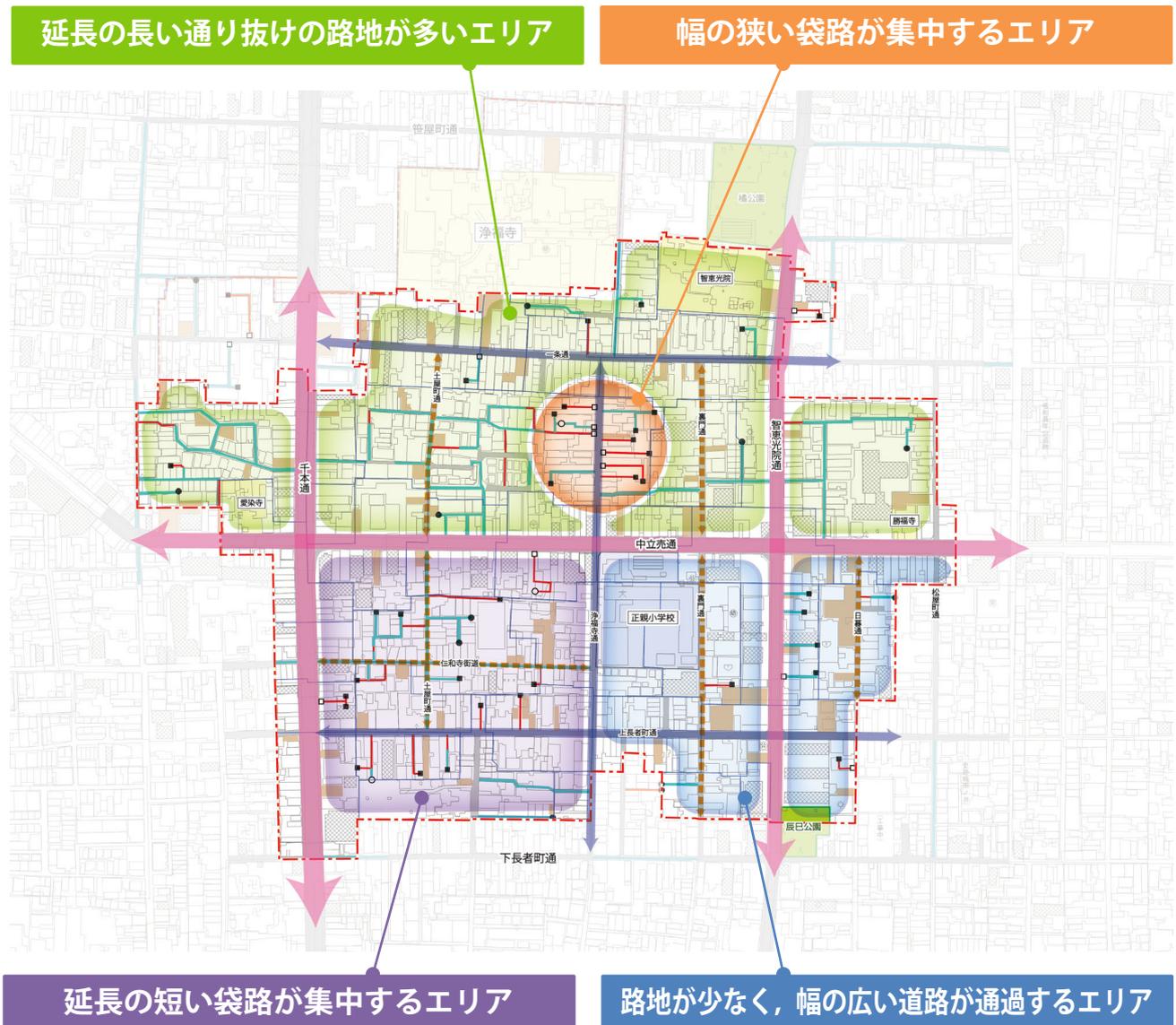


図. 市街地の特性等によるエリアの区分

# エリア別計画図①

## 延長の長い通り抜けの路地が多いエリア

**凡 例**

- 幅員4.0m以上の道路
- 幅員1.8m以上4.0m未満の道路
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当たりが建物)
- 袋路(突き当たりが塀・柵等)
- 袋路(突き当たりがドア)
- トンネル路地
- 地域の集合場所
- 公園
- 公共公益施設
- 寺社
- 空き地・平面駐車場
- 学区界

**対策事例**

袋路始端部の整備  
(伊勢殿構町)

改修後 (H28.9)

ブロック塀の改修  
(泰童町)

改修後 (H29.3)

・災害時の一時的な避難場所としての活用【方針8】

町内会 **すぐ取組**

・緊急避難扉の設置など、2方向避難経路の確保【方針6】

・「防災ひろば」の整備【方針8】

町内会 **すぐ取組**

【一条通、浄福寺通】

・「すまいの耐震大作戦」による、学区の防災上重要な道路沿道建物の耐震化・防火対策の促進【方針7】

学区

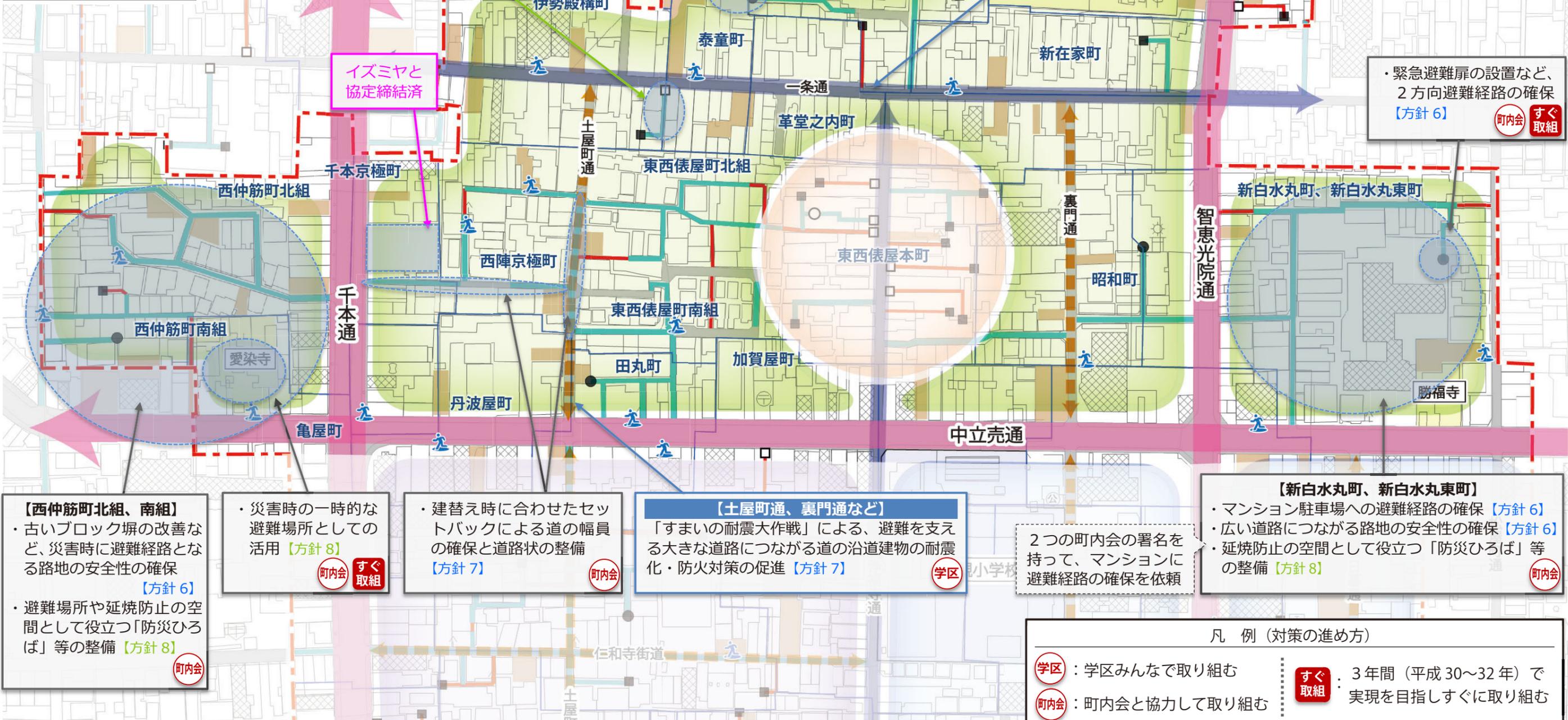
【中立売通、千本通、智恵光院通】

広域的な視点から、災害時の救援活動や物資輸送等を支えるため、沿道の大規模な建物の耐震化・防火対策の促進【方針7】

学区

・緊急避難扉の設置など、2方向避難経路の確保【方針6】

町内会 **すぐ取組**



【西仲筋町北組、南組】

・古いブロック塀の改善など、災害時に避難経路となる路地の安全性の確保【方針6】

・避難場所や延焼防止の空間として役立つ「防災ひろば」等の整備【方針8】

町内会

・災害時の一時的な避難場所としての活用【方針8】

町内会 **すぐ取組**

・建替え時に合わせたセットバックによる道の幅員の確保と道路状の整備【方針7】

町内会

【土屋町通、裏門通など】

「すまいの耐震大作戦」による、避難を支える大きな道路につながる道の沿道建物の耐震化・防火対策の促進【方針7】

学区

2つの町内会の署名を持って、マンションに避難経路の確保を依頼

【新白丸町、新白丸東町】

・マンション駐車場への避難経路の確保【方針6】

・広い道路につながる路地の安全性の確保【方針6】

・延焼防止の空間として役立つ「防災ひろば」等の整備【方針8】

町内会

凡 例 (対策の進め方)

学区	：学区みんなで取り組む	<b>すぐ取組</b>	：3年間(平成30~32年)で実現を目指しすぐに取り組む
町内会	：町内会と協力して取り組む		



# エリア別計画図③

## 幅の狭い袋路が集中するエリア

※所有者、路地にお住まいの住民のみ皆さんの意向を踏まえ、路地単位の取組を進めます。

### 路地⑧ 幅員：約1.0m (トンネル路地)

#### 【路地の状況】

路地（非道路）の中の家はすべて空き家。路地の途中には、井戸がある。

#### 【具体的な対策】

- 路地の雰囲気大切にしながら、空き家の改修等を行い、路地を再生



### 路地⑥、⑦ 幅員：約1.9m

#### 【路地の状況】

路地入口部分は駐車場になっているが、路地奥には町家が残っている。

#### 【具体的な対策】

- 路地⑤と路地⑥をつなぐ緊急避難扉の設置。
- 建物の耐震化・防火対策（特に路地入口部分）
- 京町家の維持・継承



### 凡例

- 幅員4.0m以上の道路
- 幅員1.8m以上4.0m未満の道路
- 幅員1.8m未満の道
- 袋路(突き当たりが建物)
- 袋路(突き当たりが塀・欄等)
- 袋路(突き当たりがドア)
- トンネル路地
- 地域の集合場所
- 公園
- 公共公益施設
- 寺社
- 空き地・平面駐車場
- 学区界

### 路地⑨、⑩ 幅員：1.3~2.7m (トンネル路地)



#### 【路地の状況】

町家が連なる石畳の路地。緊急避難扉設置済み。

#### 【具体的な対策】

- 建物の耐震化・防火対策（特に路地入口部分）
- 将来の建替え等に向け、建築ができる制度を活用した防災性を高める取組の検討

路地の雰囲気大切にしながら、路地の計画づくりに向けて、住民のみなさんとの意見交換を継続

### 路地② 幅員：約1.0m

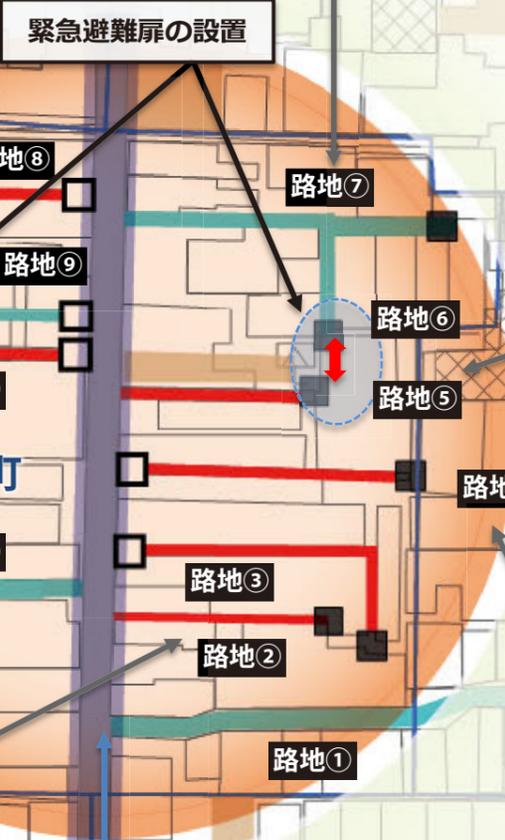
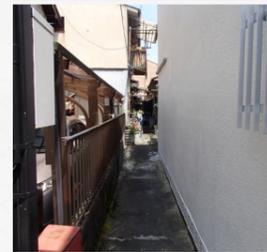
### 路地③ 幅員：約1.6m (トンネル路地)

#### 【路地の状況】

権利関係が複雑な路地。路地③の路地奥には屋根の崩れた空き家がある。

#### 【具体的な対策】

- 建物の耐震化・防火対策（特に路地入口部分）
- 路地どうしをつなぐ避難経路の確保
- 老朽化した空き家の除却、跡地を「防災ひろば」や避難経路に活用
- 将来の建替え等に向け、建築ができる制度を活用した防災性を高める取組の検討
- 建替え等が困難な敷地での敷地の統合化や建物の共同化（これに合わせた道の整備）の検討



### 路地⑤ 幅員：約1.6m

#### 【路地の状況】

路地入口北側の建物は建替え済。

#### 【具体的な対策】

- 路地⑤と路地⑥をつなぐ緊急避難扉の設置
- 建物の耐震化・防火対策（特に路地入口部分）
- 将来の建替え等に向け、建築ができる制度を活用した防災性を高める取組の検討



### 路地④ 幅員：約1.6m (トンネル路地)

#### 【路地の状況】

空き家の多い路地。屋根の崩れた空き家もある。

#### 【具体的な対策】

- 建物の耐震化・防火対策（特に路地入口部分）
- 老朽化した空き家の除却、跡地を「防災ひろば」や避難経路に活用
- 将来の建替え等に向け、建築ができる制度を活用した防災性を高める取組の検討
- 建替え等が困難な敷地での敷地の統合化や建物の共同化（これに合わせた道の整備）の検討



**【浄福寺通】**  
「すまいの耐震大作戦」による、学区の防災上重要な道路沿道建物の耐震化・防火対策の促進  
【方針7】

### 凡例 (対策の進め方)

- 学区：学区みんなで取り組む
- 町内会：町内会と協力して取り組む
- すぐ取組：3年間（平成30~32年）で実現を目指すすぐに取り組む

## 5. 計画の実現に向けて

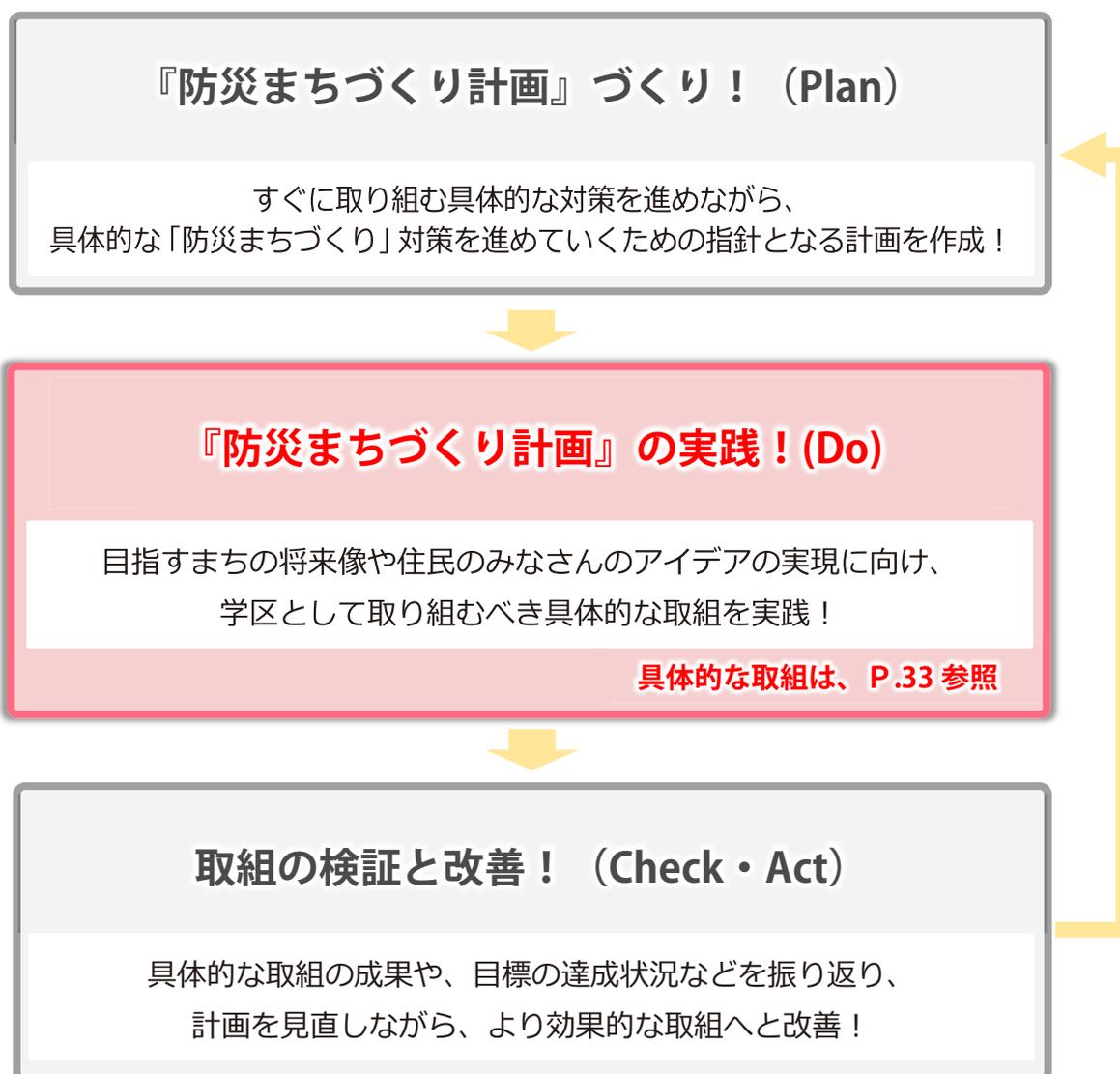
### (1) 基本的な進め方

正親学区では、平成 27 年度から災害につよいまちづくりの取組を進めるとともに、様々な活動の中で住民のみなさんから「防災まちづくり」に関するご意見やアイデアをいただきながら、『防災まちづくり計画』を検討してきました。

これからの 3 年間は、『防災まちづくり計画』に基づき、目指すまちの将来像の実現に向けて、各町内での具体的な対策や学区全体での取組などを進めていきます。

その後も、『防災まちづくり計画』を実践しながら、各取組の達成状況や結果などを確認・検証し、災害につよく安心・安全なまちづくりのための取組へと改善していくことにより、より良い『防災まちづくり計画』へと見直していきます。

### これからの取組の進め方のイメージ



(2) 3年間の取組イメージ

— みんなで『防災まちづくり計画』を実践していきましょう! —

	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	3年間の目標!	平成 33 年度~
いえ	<p>★すまいの耐震大作戦の実施! 学区全体に耐震呼び掛け① 家具の固定等の安全対策P R</p> <p>★空き家等対策の実践! 町内会での空き家調査 (実態把握) 管理が不十分な空き家への対応措置 (京都市、区役所と連携) 空き家化の予防講座の実施 (亀楽会、専門家と連携)</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学区全体で家の中の安全対策を実施する!</li> <li>町内会が町内の空き家の情報を把握している!</li> </ul>	継続
みち	<p>防災まちあるき・ワークショップの実施!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エリア別計画の学習</li> <li>町内の空き家やゲストハウスなどの確認</li> <li>避難経路や避難場所、「地域の集合場所」の確認・共有</li> </ul>	<p>★すまいの耐震大作戦の実施! 学区の防災上重要な道路沿道建物の耐震呼び掛け②</p>	<p>避難を支える大きな道路につながる道の沿道建物の耐震呼び掛け③</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学区全体に耐震化の重要性を伝える!</li> <li>路地の適正管理、安全対策を進める!</li> </ul>	①②③を毎年実施
まち	<p>★安全な避難場所の整備! 「地域の集合場所」、避難経路の確認</p> <p>『防災まちづくりマップ』・防災表示板づくり</p> <p>★正親小学校の防災まちづくり学習との連携! 小学生の防災まちあるきへの参加・連携、結果の反映</p> <p>★路地の雰囲気将来につなぐ計画づくり (東西俵屋町など)!</p>	<p>「地域の集合場所」の見直し お寺や駐車場などの避難場所としての活用</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>町内で「地域の集合場所」や避難経路を把握している!</li> <li>『防災まちづくりマップ』をつくる!</li> </ul>	継続
コミュニティ	<p>★町内会の防災力を高める!</p> <p>★コミュニケーションを充実する!</p> <p>★『防災まちづくり』の体制を整える!</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学区や町内全員が「防災まちづくり」の取組に参加する!</li> </ul>	継続
その他の取組	<p>平日日中の災害に備える対策マニュアルづくりとの連携! 平日日中の災害に備える対策の検討と合わせたソフト対策の検討 地域住民と連携した災害時の避難誘導體制、連絡体制、子どもの見守り体制、避難所の運営方法などの検討</p>	マニュアル作成	対策マニュアルをもとに、対策の実施や体制づくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなが協力して安全に避難できる体制をつくる!</li> </ul>	継続
すぐに取り組む具体的な対策	<p>★すぐに取り組む具体的な対策の実施! 緊急避難扉の設置、防災ひろばの整備など</p>	対策候補箇所 東西俵屋町・山王町・福本町・新白水丸東町・亀木町		<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての対策候補箇所で対策を実施!</li> </ul>	その他の対策候補箇所の検討

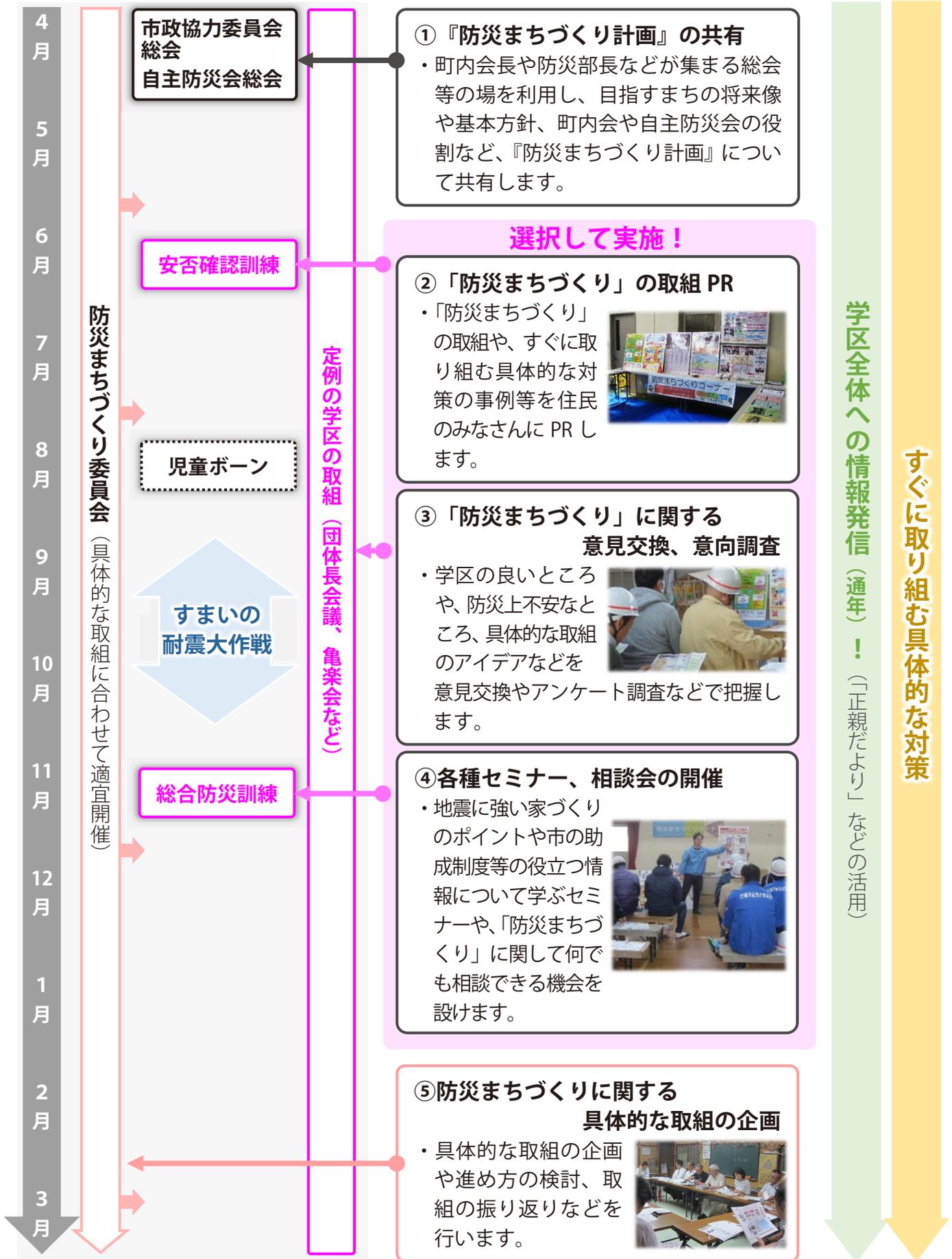
目指すまちの将来像

地域の絆を深め、みんなでつくる

安心・安全、住みよきまち 正親

### (3) 学区の取組と連携した年間の取組イメージ

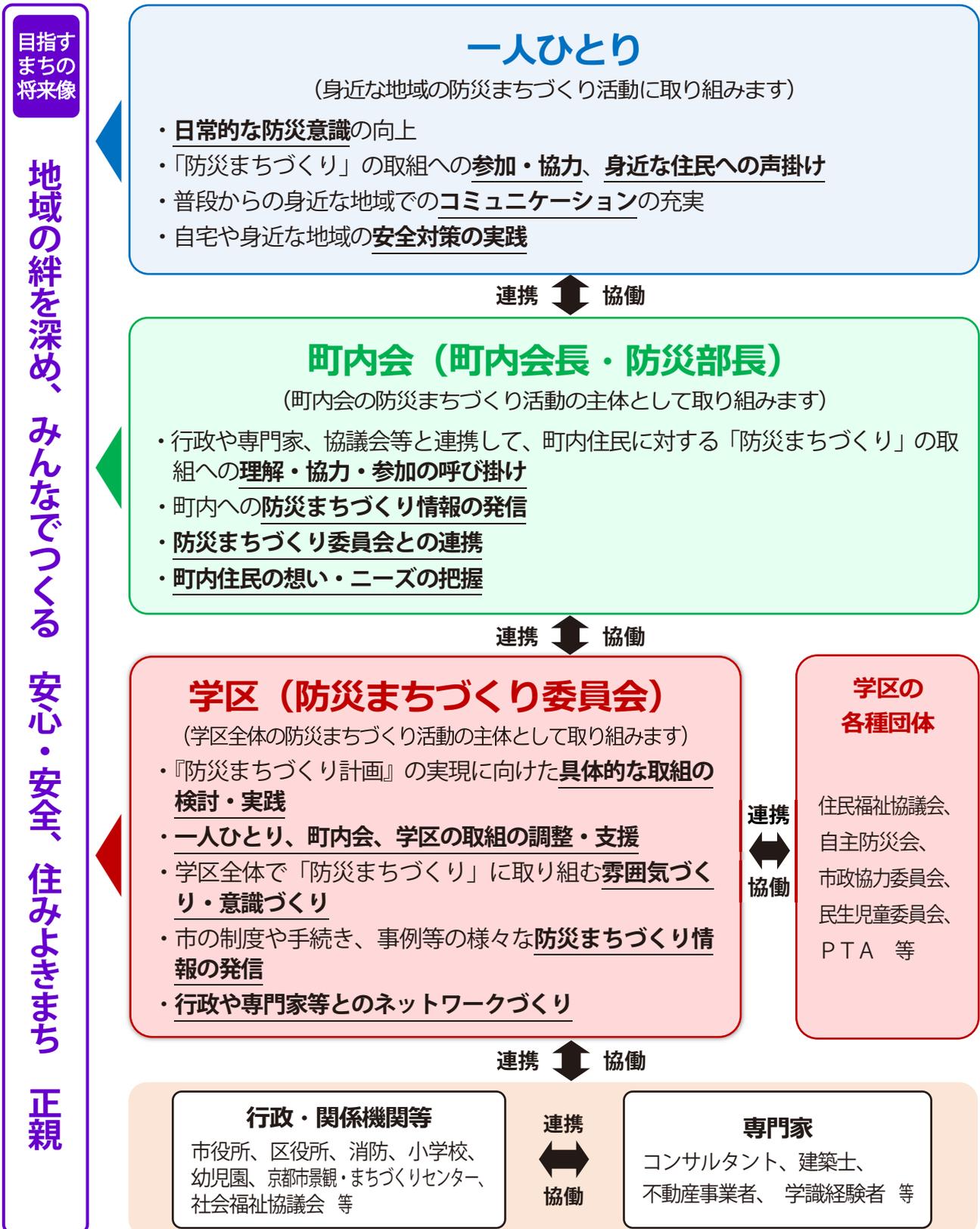
▽具体的な取組メニュー（案）▽



## (4) 主体ごとの役割と具体的な取組

### ①一人ひとり、町内会、学区の役割

「目指すまちの将来像」の実現に向けて、一人ひとり、町内会、学区のそれぞれでできることから取り組んでいき、各主体が相互に連携・協力しながら、具体的な取組を進めていきます。



## ②方針ごとの一人ひとり、町内会、学区の具体的な取組

目指すまちの将来像を実現するために、一人ひとり、町内会、学区がそれぞれの役割のもとで検討・実践する具体的な取組は、以下のとおりになります。

いえ	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
<b>方針1.</b> <b>家の中の安全対策に取り組む</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家具の転倒防止、感震ブレーカーの設置などの安全対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内での<b>家の中の安全対策の呼び掛け</b> (回覧に掲載)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正親小学校における<b>防災まちづくり学習への支援</b></li> <li>家の中の安全対策を<b>学区全体に意識啓発</b> (正親だよりでの情報発信)</li> </ul>
<b>方針2.</b> <b>地震や火災に強い家づくりに取り組む</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅の<b>耐震診断、耐震・防火改修</b>の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回覧での定期的な<b>耐震助成等の情報発信</b></li> <li>家の改修方法などに関する<b>知識や経験の共有</b></li> <li><b>借家の所有者</b>への耐震診断、耐震・防火改修の<b>呼び掛け</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すまいの耐震大作戦」での<b>耐震診断、耐震・防火改修等の意識啓発</b></li> </ul>
<p>・市政協力委員会や自主防災会の総会、地藏盆などの機会を活用して、耐震助成や「防災まちづくり」の取組についてPR！</p>			
<b>方針3.</b> <b>空き家等対策に取り組む</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所有する空き家の<b>適正管理</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の<b>空き家情報の把握</b></li> <li>回覧での<b>空き家対策の情報発信</b></li> <li>空き家所有者への<b>適正管理の呼び掛け</b></li> <li>ゲストハウス管理者への<b>適切な管理・運営の呼び掛け</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会と連携した<b>空き家情報の把握</b></li> <li>学区の取組と連携した<b>空き家化の予防講座の実施</b></li> <li><b>空き家対策に関する勉強会の実施</b></li> <li>「防災まちづくり」を<b>学ぶ場</b>としての空き家の利活用の検討</li> </ul>
<p>・空き家対策や住宅の耐震化、「防災まちづくり」の取組に関して相談できる専門家のリストの作成・配布！</p>			

: 取組を進める上でのアイデア

み ち	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
<b>方針4.</b> <b>災害時の避難経路を確認・共有する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の<b>避難経路の確認</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内での<b>避難方法を複数検討</b></li> <li>・回覧での災害時の<b>避難場所や避難経路の共有</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日日中の災害に<b>備える対策</b>と連携した<b>避難経路の安全性の確認</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の防災まちづくり学習と連携し、家族で防災情報を共有！</li> </ul>			
<b>方針5.</b> <b>路地を日頃から適切に管理する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路地の<b>適正管理</b>と住民のみなさんへの<b>声掛け</b>（自動車や自転車、植木などの整理）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路地の<b>適正管理に関するルールづくり</b>、回覧での<b>呼び掛け</b>（駐車や駐輪、植木などの整理）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路上への駐車、駐輪、植木の整理、路地の適正管理を<b>学区全体で意識啓発</b>（正親だよりに掲載）</li> </ul>
<b>方針6.</b> <b>安全に避難できる「路地」をつくる</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に避難できる「路地」づくりへの<b>協力</b>（袋路始端部の建物の耐震化・防火対策、古いブロック塀の改善、袋路の2方向避難経路の確保、路地の段差の解消など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に避難できる「路地」づくりの実践に向けた<b>関係者への協力の呼び掛け</b>（所有者の思い・ニーズの把握）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に避難できる「路地」づくりへの<b>意識啓発</b></li> <li>・路地の入口に、通り抜け可能か袋路（行き止まりの路地）かの<b>表示板の設置</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市共通のイラストなどを使った防災に関する表示板の作成！</li> </ul>			
<b>方針7.</b> <b>骨格となる道の安全性を高める</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替え時の<b>セットバックの実施</b></li> <li>・住民のみなさんへの<b>道路状の整備の声掛け</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えに合わせた<b>セットバック、道路状の整備の呼び掛け</b></li> <li>・学区などと連携したセットバックや道路状の整備に関する<b>ルールづくり</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すまいの耐震大作戦」での沿道建物の<b>耐震化・防火対策の意識啓発</b></li> <li>・行政などと連携した建替え時の<b>セットバックと道路状の整備の指導等に関する取り決め</b>の検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えしそうな建物があれば、町内会や学区と共有！</li> <li>・学区の防災上重要な道路などでは、電柱の移設を業者に依頼！</li> </ul>			

: 取組を進める上でのアイデア

ま ち	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
<b>方針 8.</b> <b>安全な避難場所をつくる</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の集合場所」の<b>確認</b></li> <li>・安全な避難場所をつくる取組への<b>協力</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の集合場所」への<b>看板の設置</b></li> <li>・「地域の集合場所」の<b>共有・再検討</b></li> <li>・安全な<b>大型店舗等への避難の検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校や公園への「かまどベンチ」などの<b>災害時に役立つ防災設備の設置</b></li> <li>・「地域の集合場所」などを示した『<b>防災まちづくりマップ</b>』の<b>作成</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と連携したステッカーの作成、各町内の防火バケツに「地域の集合場所」のステッカーを貼るなど、学区全体に広く情報発信！</li> </ul>			
<b>方針 9.</b> <b>身近な地域の防災環境を整える</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有する<b>井戸の適正管理、活用方法の検討</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に使える井戸の<b>確認、所有者への活用の呼び掛け</b></li> <li>・拡声器や防災ベルなどの<b>防災設備の整備、メンテナンス</b></li> <li>・各町内の<b>防火バケツの設置</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用の<b>掲示板などの設置</b></li> <li>・災害時に<b>使用できる井戸の表示板の設置</b></li> <li>・災害時にも使用できる<b>災害救援自販機の設置</b></li> <li>・防火バケツなどの設置の<b>意識啓発</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の広報板やバス停など、人の目に留まるところ、人が集まるところに防災情報を掲示！</li> </ul>			
<b>方針 10.</b> <b>路地の雰囲気をつなぐ路地単位の計画づくりを進める</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路地を大切にした<b>保全・再生の取組への協力と声掛け</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路地を大切にした<b>保全・再生の検討</b></li> <li>・住民のみなさんの<b>想いの把握</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路地の<b>魅力の発信</b></li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・路地全体の雰囲気を大切にしながら、学区のモデルとなる路地を整備し、PR！</li> </ul>			

 : 取組を進める上でのアイデア

コミュニティ	一人ひとり	町内会 (町内会長・防災部長)	学区 (防災まちづくり委員会)
<b>方針 11.</b> <b>町内会の防災力を高める</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災意識を高め、防災に関する取組などへの参加・協力をする</li> <li>・ 個人での災害時の備蓄、住民のみなさんへの声掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内の高齢者の確認・見守り</li> <li>・ 災害時の安否確認など、災害時の避難の際のルール・体制づくり</li> <li>・ 町内単位での災害時の備蓄、必要な物のリスト化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会と連携した学区の高齢者の名簿づくり</li> <li>・ 高齢者の救助などに関する方法の検討、訓練の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 向こう三軒両隣で、高齢者などの災害時に支援が必要な人の把握！</li> </ul>			
<b>方針 12.</b> <b>コミュニケーションを充実する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日頃からのコミュニケーション、声掛け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンション住民との交流</li> <li>・ 町内会加入の呼び掛け</li> <li>・ 地域行事などでの情報交換</li> <li>・ 町内の団体やグループなどとの連携・協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会への加入を促す情報発信 (正親だよりに掲載)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民しんぶんなどで、町内会加入のメリットなどを記載！</li> <li>・ マンション建設時に、町内会への加入など、町内会との取り決めを進める！</li> </ul>			
<b>方針 13.</b> <b>「防災まちづくり」の体制を整える</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「防災まちづくり」の取組への積極的な参加・協力</li> <li>・ 住民同士での防災情報の交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会長、防災部長への情報の引継ぎ</li> <li>・ 商店会等と連携した防災に関する情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校と連携した防災まちづくりの取組の実践</li> <li>・ 自主防災会との情報共有</li> <li>・ 各世代の防災リーダーの育成</li> <li>・ 店舗等と災害時の協定の締結、引継ぎ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難の際に支援が必要な人や、ペットとの避難の方法などに関するセミナーを開催！</li> <li>・ 子どもや高齢者などが優先的に避難できる体制の整備！</li> <li>・ 区民運動会などで、防災に関するゲームを実施し、意識啓発！</li> </ul>			

☐ : 取組を進める上でのアイデア





# 正親学区 防災まちづくり計画

---

【発行】正親学区 防災まちづくり委員会  
平成 30 年 3 月